

山武市 まちづくり報告書

～第3次山武市総合計画の進行管理～

海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武



令和6年度実績

目 次

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方

- (1)山武市まちづくり報告書とは…………… 1
- (2)総合計画と行政評価…………… 1
- (3)行政評価による総合計画の進行管理…………… 2

2. まちの経営動向

- (1)人口の推移 …………… 3
- (2)歳出決算額の推移（普通会計）…………… 3

3. 総合計画の評価概要（令和6年度）

- (1)まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）…………… 4
- (2)政策別のまちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）…………… 5

4. 学識経験を有する者の知見…………… 7

5. 総合計画の体系図……………14

6. 施策の進み具合の報告

- (1)評価結果の見方……………16

(2)施策・基本事業評価結果

- 1 暮らしを支える快適なまちづくり……………17
- 2 住みやすい環境と安全なまちづくり……………31
- 3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり……………49
- 4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり……………63
- 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり……………85
- 6 市民と行政が協働してつくるまちづくり……………103

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方

(1) 山武市まちづくり報告書とは

「第3次山武市総合計画（令和5～8年度）」は、4年後の山武市のめざす姿を定めたまちづくりの指針となるものです。（図①参照）

この総合計画では、分野別にめざす姿（目標）を設定しており、定期的にその成果（数値）を把握することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

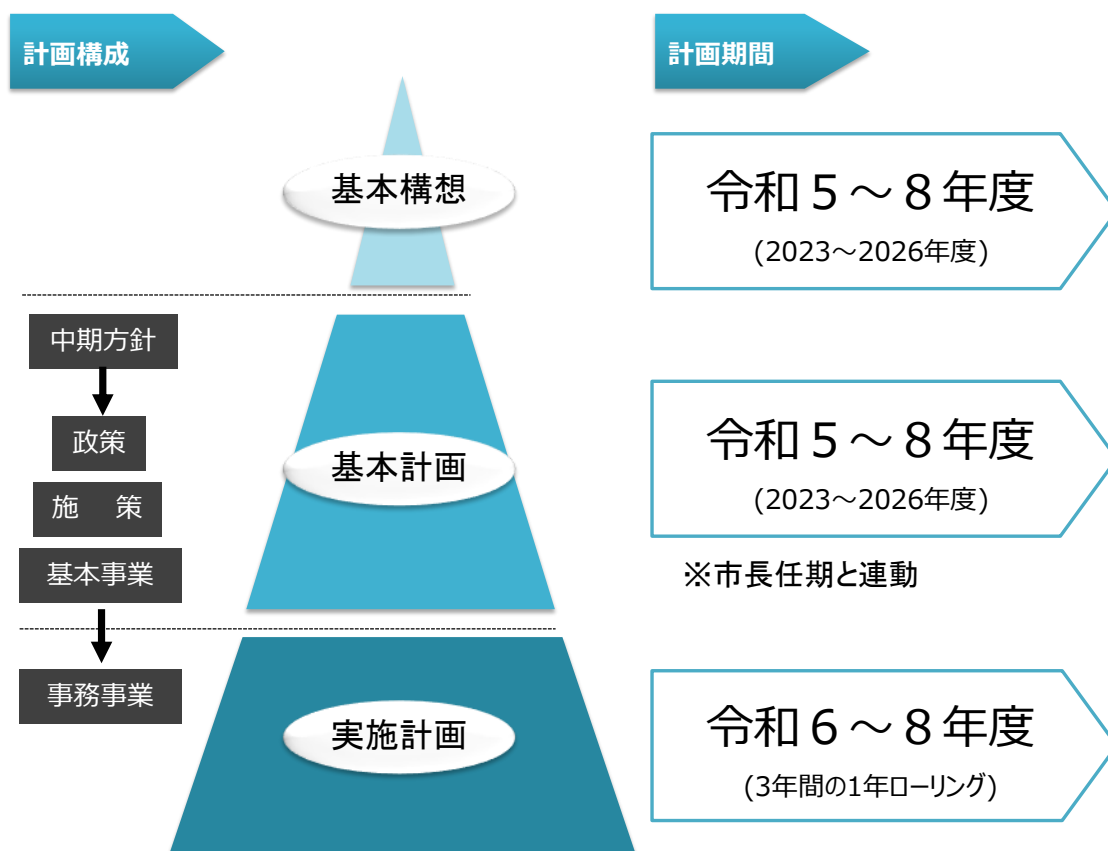
この「まちづくり報告書」は、現在までのまちづくりの取組状況（目標の推進状況、達成状況）をまとめ、みなさまにお知らせするものです。

(2) 総合計画と行政評価

第3次山武市総合計画では、基本構想は山武市のまちづくりの普遍的な方向性を示しています。また、基本構想の状況を示すまちづくり指標を設定し、基本計画終了時に確認を行うこととしています。

そのため、基本計画に6つの政策を掲げ、それぞれの政策ごとに取組の方針を定めています。6つの政策の下には、23の「施策」と104の「基本事業」が位置付けられ、さらに「基本事業」を実現する最も具体的な手段としての「事務事業」があり、総合計画の体系を構築しています。（図①参照）

図① 総合計画の体系



また、取組を進めていく中で、ヒト、モノ、カネといった限られた経営資源を有効に活用するとともに、みなさまに分かりやすい行財政運営を行うひとつの方策として、本市では「行政評価」の考え方を導入しています。

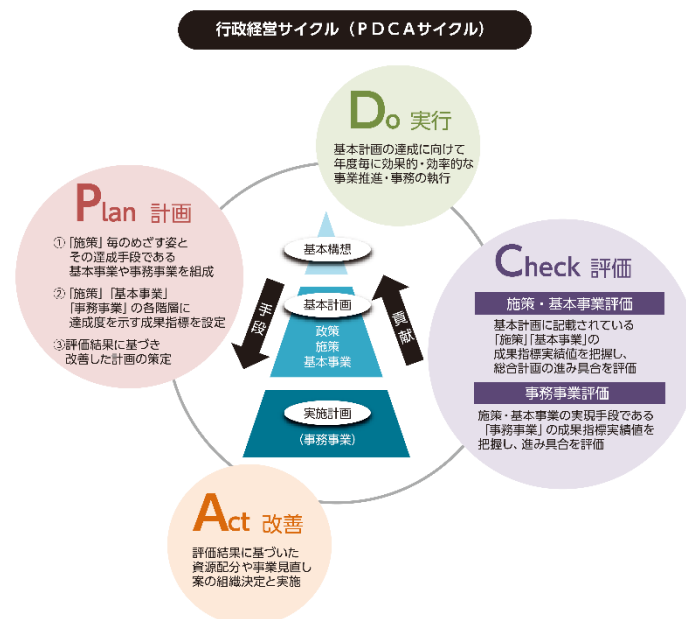
(3) 行政評価による総合計画の進行管理

山武市では総合計画の進行管理のために、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）のサイクルを活用した行政評価の考え方を取り入れ、目標年次に向けた総合計画の進行管理を行い、成果の向上を図ります。（図②参照）

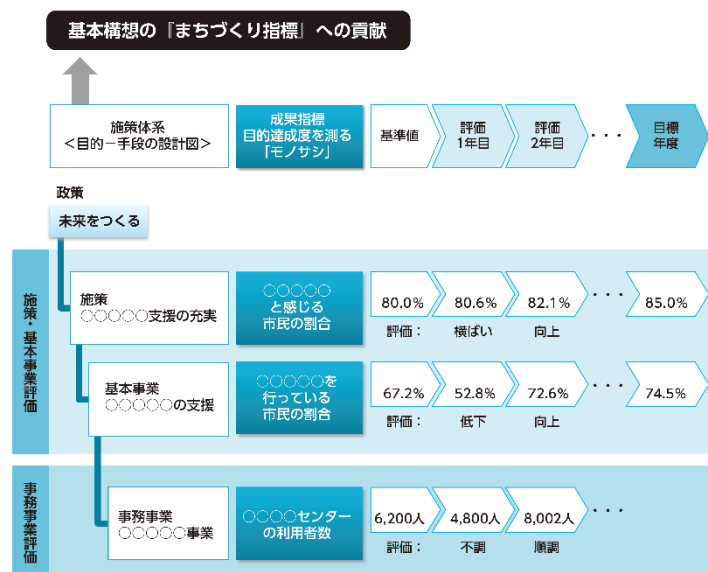
行政評価の考え方を取り入れた第3次山武市総合計画では、「施策」と「基本事業」にそれぞれ「めざす姿」を掲げ、その「めざす姿」の達成度を数値で表すモノサシとして「成果指標」を設定し、計画の最終年次である令和8年度に、達成すべき目標値を定めています。

総合計画の進行管理を行ううえで、毎年「施策」、「基本事業」の成果を評価し、目標に向かって遅れが出ている項目については、現状を把握し、なぜ数値が伸びていないのかというような原因を分析し、事業の見直しを検討、実施することで目標の達成を目指します。（図③参照）

図② 総合計画の進行管理



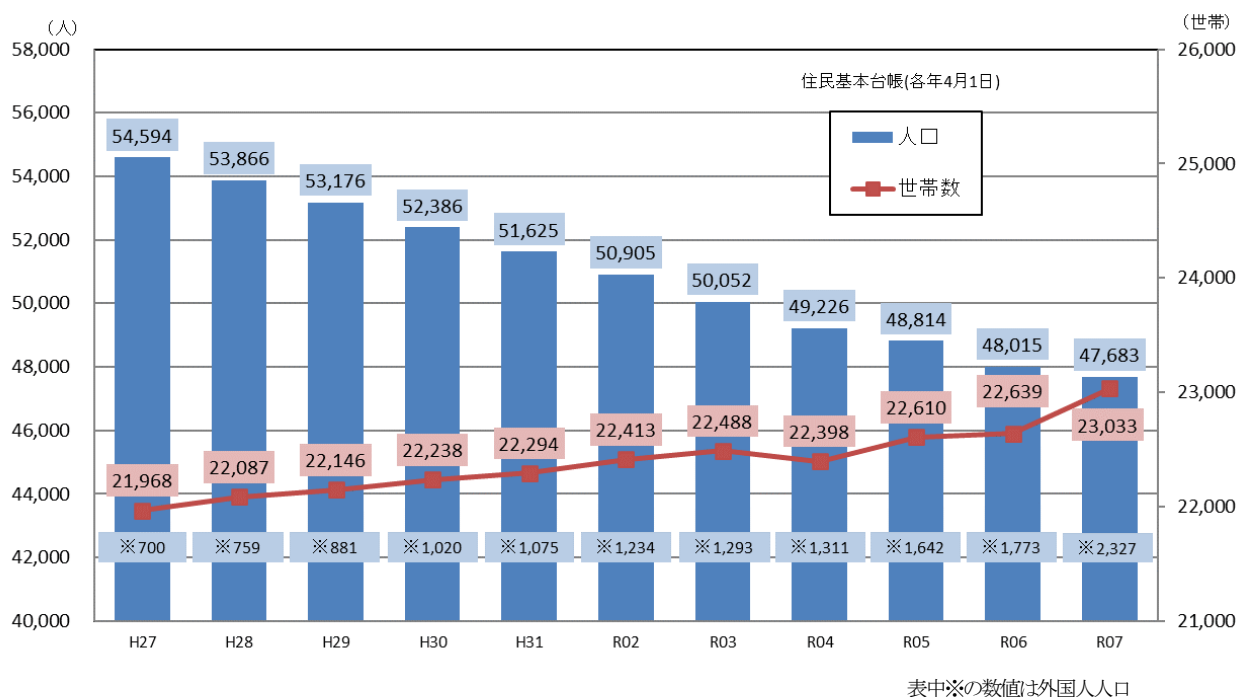
図③ 成果指標に基づく進行管理



2. まちの経営動向

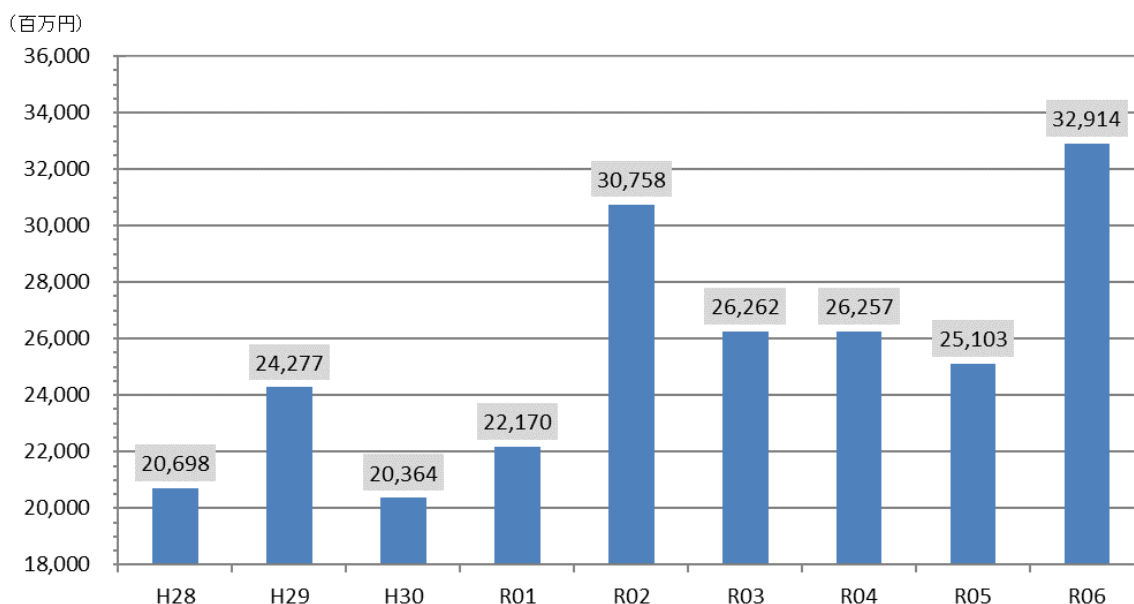
(1) 人口の推移

人口は減少傾向が続いています。出生率の低下と高齢化に伴う死亡者数の増加による「自然減」が大きく影響しています。なお、山武市の高齢化率は令和6年度の37.6%から令和7年度は37.8%と微増しています。一方で世帯数は、核家族化の進展等、家族のあり方の変化が進んでいるものと推察できます。



(2) 歳出決算額の推移 (普通会計)

令和6年度の歳出については、昨年度と比較して78億1千1百万円増の329億1千4百万円となりました。主な事業内容は、地方独立行政法人さんむ医療センターの医療機器の購入や建替整備のための貸付金や市内小中学校に電子黒板等を整備する学校教育DX推進事業などとなっています。



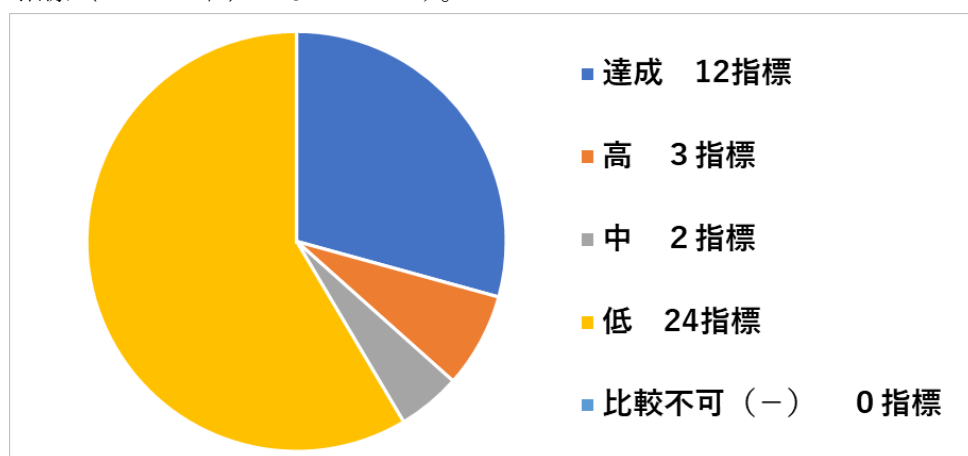
3. 総合計画の評価概要（令和6年度）

（1）まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）

山武市総合計画で設定された246の成果指標の進捗状況は下記のとおりとなっています。

① 施策の成果指標動向【23施策41指標】

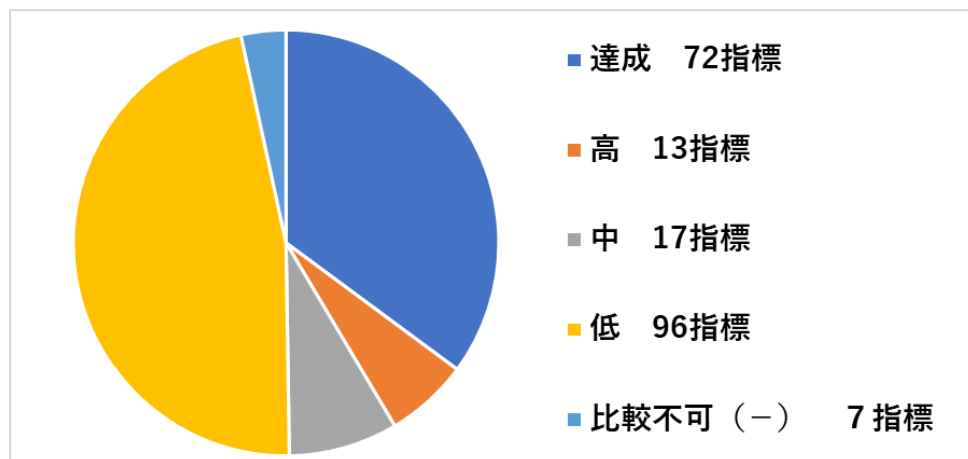
23施策の成果として設定されている41の成果指標について、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）は15指標（36.6%）となっています。横ばいのもの（評価区分「中」）が2指標（4.9%）、成果が低調もしくは、低下しているもの（評価区分「低」）が24指標（58.5%）となっています。



② 基本事業の成果指標動向【104基本事業205指標】

23施策の成果（前述の41成果指標）を向上させるための手段として、施策体系に位置付けられている104の基本事業の成果を示すものとして205の成果指標が設定されています。

それらの指標の動向として、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）が85指標（41.5%）、横ばいのもの（評価区分「中」）が17指標（8.3%）、成果が低調もしくは、低下しているもの（評価区分「低」）が96指標（46.8%）となっています。



※比較不可…主に国、県等の統計データの実施年度が隔年や5年毎等で成果指標の実績値を毎年把握することができず、令和6年度の評価として進捗を検討できないものを指します。

(2) 政策別のまちづくりの進捗状況(成果指標値の推移)

① 施策の成果指標動向【23施策41指標】

6つの政策	成果指標の動向					☐ 目標達成、概ね順調な主な指標 ☒ 横ばい、成果が低調、低下している指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	2	0	0	2	0	☐ 都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度 ☐ 災害・火災による死者数 ☒ 公共交通網の満足度 ☒ 市内移動の交通手段に困っている市民の割合
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	5	2	0	3	0	☐ 生活環境に関する苦情件数 ☐ 人口1,000人当たりの交通事故発生件数 ☒ 山武市の温室効果ガス(CO2)排出量 ☒ 污水处理人口普及率
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	1	0	0	4	0	☐ 農業所得 ☒ 森林整備年間実施面積(計画期間累計) ☒ 黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数) ☒ 年間観光客入込数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	1	0	1	7	0	☐ 生活習慣病死亡率 ☒ 介護保険サービスの満足度 ☒ 子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合 ☒ 地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	1	0	0	5	0	☐ 人権が尊重されているまちだと思う市民の割合 ☒ 学校生活に満足している児童の割合 ☒ 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的) ☒ スポーツ活動に親しむ市民の割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	2	1	1	3	0	☐ NPO・ボランティア活動をしている市民の割合 ☐ この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えたことがある市民の割合 ☒ 施策の目標達成率 ☒ 適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数

②基本事業の成果指標動向【104基本事業205指標】

6つの政策	成果指標の動向					☐ 目標達成、概ね順調な主な指標 ☒ 横ばい、成果が低調、低下している指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	6	2	5	11	0	☐ 公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 ☐ 国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計) ☒ 道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 ☒ バス運行状況の満足度
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	13	3	1	14	0	☐ 空地の管理(雑草等)苦情件数 ☐ 消費者トラブルにあった市民の割合 ☒ 1人当たりの負担金額(収集料金・ごみ袋代金を含む) ☒ 広域化に関する承認件数【市営水道】
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	7	3	2	10	1	☐ ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数 ☐ 海岸を利用した撮影及び活動件数 ☒ 耕地面積(水田、畑) ☒ 市内工業団地の従業者数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	16	4	5	23	5	☐ 乳児面接実施率 ☐ 特定疾病療養受療証新規交付数 ☒ 認知症サポーター養成講座受講者数 ☒ 幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	14	0	2	23	0	☐ 学力の定着が見られる児童の割合 ☐ 体育施設の利用者数 ☒ ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合 ☒ 芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	16	1	2	15	1	☐ 区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合 ☐ 経常経費に占める一般財源の割合 ☒ SNS等による市からの情報発信件数 ☒ 市のICTサービスを利用している市民の割合

4. 学識経験を有する者の知見

慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員
金子 光

1. 山武市の総合計画と行政評価

(1) 山武市の総合計画

山武市の総合計画は市の最重要計画として6つの政策から構成されており、それぞれの政策で明確な目的が掲げられている。今回評価を行う総合計画は、令和5年度から令和8年度までを計画期間とし、「海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり」「成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり」「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を進めるために6つの政策、その下に23の施策・104の基本事業・約800の事務事業が存在している。それぞれが上位の目的を達成するための手段という関係が成り立っており、政策－施策－基本事業という政策体系の明示化により政策目的と手段の明確化・体系化が図られている。

(2) 山武市の行政評価

山武市の行政評価制度は施策・基本事業の達成度を評価する制度であり、目的としては以下の6つが挙げられる。

- ①総合計画に基づいた成果重視の事業実施を行う
- ②行政資源の効率的配分とその効率的活用を可能とする基準づくり
- ③職員の意識改革を促進し、コスト意識・マネジメント意識を醸成する
- ④市民への説明責任を果たす
- ⑤総合計画の策定とそれに伴う進捗状況（達成度）を評価し、次の計画に生かす
- ⑥不要な事業、無駄な事業を削減・縮小・廃止する

評価の実施方法としては、施策と基本事業について内部評価が行われており、令和7年度は令和5年度から始まった第3次山武市総合計画の2年目の評価にあたる。

施策・基本事業の評価結果は、「まちづくり報告書」を通して市民に情報を公開し説明責任を果たしている。

2. 「まちづくり報告書」の特徴

(1) グラフによるトレンドの把握

それぞれの指標についてグラフが記載されており、その中で基準値とめざそう値が設定されておりトレンドが分かる。

(2) <原因>における分析

グラフから現状を把握した上で、評価のなかで<状況>と<原因>が書かれ分析が行われている。

(3) 市民生活との関連

基本事業の記述については市民生活に直結するものが取り上げられている。

(4) アウトカム指標の活用

アウトカム指標はまちづくりアンケートの結果や統計データ、業務取得データなど、その施策の目的・意図に貢献したかどうかを検討しながら設定されている。

(5) 次年度へのフィードバック

行政サービスを市民のニーズに合わせて効果的・効率的に提供していくために、行政サービスの分野ごとに目標と達成度を示す指標を定めデータに基づく客観的な評価を行っている。そして、評価の結果を次年度の計画に活用しようと取り組んでいる。

3. 「まちづくり報告書」の各項目の内容

(1) 「施策のプロフィール」

①「施策の対象」が書かれており、それぞれの施策について誰のために実施しているかが明らかになっている。

②「施策の意図」が書かれており、一つひとつの施策について、市民が市の目標や方向性をイメージできる。

(2) 施策・基本事業の「指標」について

山武市の成果指標は、上位から「施策」、「基本事業」、「事務事業」として構成される体系の各階層が目的と手段の関係になっている。「施策」や「基本事業」で定めた対象や意図に対し、成果達成度を分かりやすくする観点から指標を選択し、その進捗状況を具体的な数値で測っている。

(3) 施策・基本事業の「グラフ」について

- ① 指標について客観的なデータが示されており現状を把握できる。
- ② 前年度との比較で現状を把握できトレンドが分かる。

(4) グラフの「めざそう値」について

施策の成果指標の「めざそう値」を設定していることにより、山武市の未来に対する明確な目標が分かる。また、設定した基準も明確になっており、市民にとっても分かりやすい。

達成目標の設定は、Specific（具体的である）、Measurable（測定可能である）、Ambitious（意欲的である）、Realistic（現実的である）、Time bound（時宜を得ている）であることが望ましいが、山武市の「めざそう値」はこれらすべてを満たしている。Ambitious かつ Realistic な目標を設定することは難しいが、山武市の「めざそう値」は、これらを両立できる値に適切に設定されている。これにより市民も未来に対する目標や方向性を共有することができる。

(5) 「評価」のなかの「原因」について

<状況>のなかで、数値の変化について説明したうえで、<原因>において、その要因についての分析が記載されている。

4. 「まちづくり報告書」の各項目の課題

① 政策 01 施策 01 「地域核をネットワークとする都市整備の推進」

「施策の成果指標」の「都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度」の<原因>において、「松尾駅前排水対策工事を実施していることや、成東駅南側駅前広場が整備され快適性が向上したことが要因と考えます」とあるが、「考えます」という表現ではなく、「要因です」という記述が望ましい。

② 政策 02 施策 02 「脱炭素・循環型社会の形成」

「施策の成果指標」の「山武市の温室効果ガス（CO2）排出量」について、家庭部門と運輸部門が増加した要因を詳細に分析し、その結果から今後の対策につながる考察を行うことが望ましい。

③ 政策 02 施策 02 基本事業 01「地域脱炭素化の推進」

「基本事業成果指標」の「山武市役所における温室効果ガス（CO₂ 等）排出量」について、「課題内容」において、「今後、さらに排出量削減のために、新たな取り組みを行う必要があります」と記載されているが、現状の課題を十分に認識したうえで、今後の取り組みについては具体的な施策を示すことが重要である。

④ 政策 02 施策 02 基本事業 02「3R の推進とごみ処理の適正化」

「基本事業成果指標」の「家庭ごみ排出量」の＜原因＞において、「ごみの減量化が継続している」とあるが、実際には 36t の増加が見られる。この増加の要因を分析することにより、次年度に向けた効果的な対策を講じることが可能にある。

また、「家庭用生ごみ堆肥化装置補助金やリサイクル倉庫の活用により市民の意識が向上」との記述があるが、これらに関する因果関係を示すデータの記載が望ましい。

⑤ 政策 02 施策 02 基本事業 02「3R の推進とごみ処理の適正化」

「基本事業成果指標」の「再資源化率」の＜原因＞において、「資源回収運動を実施する団体が高齢化等の理由により減少していることや PTA 活動の縮小により回収量が減少していることが、再資源化率が減少した要因と考えられます」と記載されているが、この傾向が続く場合、再資源化率の減少がさらに進む可能性があるため、適切な対策が求められる。

⑥ 政策 02 施策 03 基本事業 04「経営の健全化と広域化の推進」

「基本事業成果指標」の「広域化に関する承認件数【市営水道】」の＜原因＞において、「九十九里地域末端給水事業体と構成市町村との覚書締結が延期したためです」との記載があるが、令和 6 年度のまちづくり報告書においても同様に、＜原因＞のなかで「九十九里地域末端給水事業体と構成市町村との覚書締結を 1 年延期し、令和 6 年度の予定としたことが要因です」と述べられており、2 年連続で同じ内容が示されている。この状況に鑑み、次年度の課題として積極的に取り組むことが望ましい。

⑥ 政策 03 施策 01「農林水産業の振興」

「施策の成果指標」の「農業所得」の＜原因＞において、「米不足により米価が上昇したことが主な要因である」と記載されているが、農業経営の安定を図るという「施策の意図」を踏まえ、今後どのような対策を講じるべきか議論することが望ましい。

⑦ 政策 03 施策 01 基本事業 01「経営の安定化の推進」

「施策の成果指標」の「耕地面積（水田、畑）」の＜原因＞において、「農業者の高齢化等による離農や規模縮小が、耕地面積の減少した要因である」との記述がある。高齢化に伴う問題への対策についても、どのような施策を実施しているのか記載することが望ましい。

⑧ 政策 03 施策 02 基本事業 01「経営体の体質強化・育成と市内消費の推進」

「基本事業成果指標」の「市内で日用品や食料品を買う市民の割合」の「課題内容」において、「市内消費喚起を促す啓発等の検討が必要です」と明示されている。今後の対策については、現状を踏まえたうえで、時間軸を短期及び中長期に分けて対策を講じることが望ましい。

⑨ 政策 03 施策 03 基本事業 01「魅力ある観光事業の推進」

「基本事業の意図」において、「関係機関と連携し、体験型観光等の魅力ある観光資源を増やし、多くの観光客が利用します」と明記されている。しかしながら、「広域（県）、民間事業者との連携事業数」が増加する一方で、「体験型観光利用者数」及び「主要施設の年間来客者数」が減少している。このため、連携事業数と観光客数の因果関係を分析する必要がある。

⑩ 政策 05 施策 01 基本事業 01「『確かな学力』の向上と『活きた学力』の推進」

「基本事業成果指標」の「学力の定着が見られる生徒の割合」に関する原因として、「数学科を苦手としている生徒が多い」との記載がある。ICT 機器の活用が学力向上に寄与していないことが要因として挙げられているが、ほかに考慮すべき原因があるのではないかと分析が必要である。また、「中学生が数学を学ぶことの意義」や、「社会における数学的思考の役割」についても指導することが求められている。そのうえで、「これからの教育は何を目指すのか」、「教育のグランドデザイン」を議論することが非常に重要であるとともに、必要不可欠である。

⑪ 政策 05 施策 01 基本事業 03「『豊かな心』を育む」

「基本事業成果指標」の「道徳性、規律性がある児童・生徒の割合」が増加しているにもかかわらず、「不登校児童の割合」、「不登校生徒の割合」が共に増加している要因について分析することが望ましい。また、「不登校児童の割合」と「不登校生徒の割合」が乖離している要因を明らかにすることも今後の対策につながる重要な分析である。この考察を踏まえたうえで、「不登校対策のゴール」を明確にし、これからの教育において求められることについて議論を行う必要がある。

⑫ 政策 05 施策 03 基本事業 02 「体育関係団体・指導者の育成」

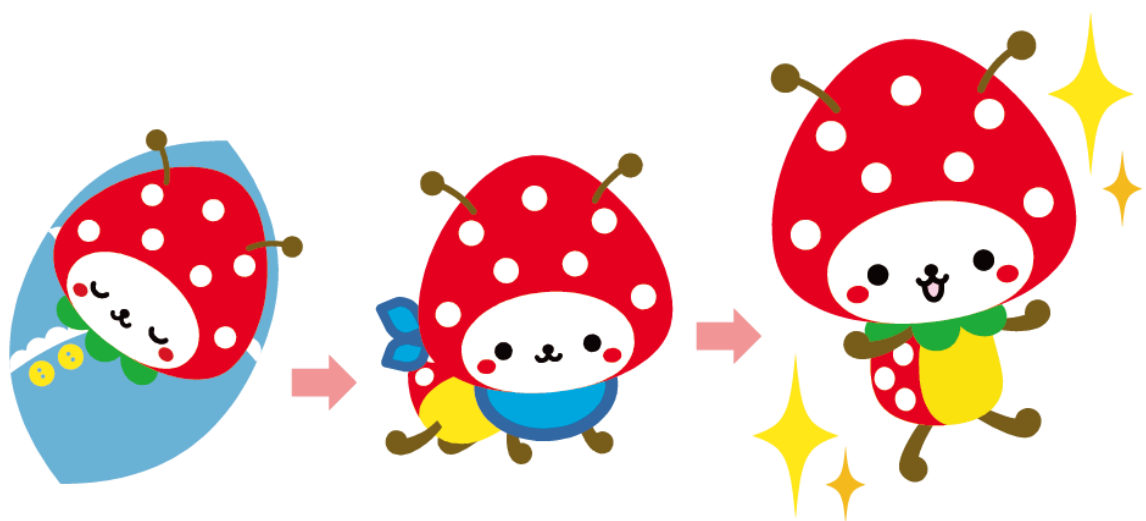
「基本事業成果指標」の「スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）」の＜原因＞において記載されている内容（「少年スポーツクラブ連合会加盟団体が1団体増加したことによる」）が＜状況＞に記述する内容となっている。令和6年度のまちづくり報告書では、「少子化により児童・生徒の減少が進行していることで、スポーツ団体への加入者数の増加が見込めないことや、そもそもの人口減少によって、組織する大人の人数も減少しているため、新規での団体数が増加しなかった要因と考えます。」と記載されている。＜原因＞において、少子化及び人口減少が進行するなかで、この1年間で取り組んできた政策や施策について記述することが望ましい。

5. 「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」に向けて

山武市においては市民の生活に直結する事業を中心に評価が実施されている。平成25年度から開始された後期基本計画は計画期間が終了し、これまでのまちづくりの評価結果を踏まえ、令和元年度から第2次山武市総合計画が策定され、今後のまちづくりに向けて、着実に対応が図られてきた。

また、この「学識経験を有する者の知見」で提言した内容が次年度の「まちづくり報告書」の作成に反映されており、評価手法は年々進化を遂げている。

第2次山武市総合計画は令和4年度で終了し、続いて令和5年度より第3次山武市総合計画が開始されました。山武市を取り巻く環境の変化に的確に対応し、今後も行政評価の結果を速やかに政策にフィードバックすることが重要である。それを継続していくことで、「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」の実現に繋がる。



5. 総合計画の体系図

- 基本構想
- ・ 海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり
 - ・ 成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり
 - ・ 将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり



政策名	施策名	基本事業名	重点分野
1 暮らしを支える快適なまちづくり 「都市基盤の整備」	1 地域核をネットワークする都市整備の推進	1 道路・橋りょうの整備・維持管理	
		2 成田空港周辺地域としての基盤整備	
		3 駅周辺の利便性の向上	●
		4 公園の再整備と適正な管理	
		5 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用	●
		6 交通安全施設の整備	
	2 持続可能な公共交通網の整備推進	1 市内における交通手段の確保	●
		2 バスでの成田空港方面へのアクセス向上	
		3 鉄道の利便性向上	
	3 災害に強い強靱なまちづくりの推進	1 防災意識・知識の向上	
		2 地域防災力の向上	
		3 災害対応力の向上	
		4 強靱化対策の推進	●
		5 消防力の充実	
2 住みやすい環境と安全なまちづくり 「暮らしやすい環境の整備」	1 生活環境の充実	1 生活公害の対策	
		2 美化運動の推進と不法投棄防止対策	
		3 航空機騒音等の対策	
	2 脱炭素・循環型社会の形成	1 地域脱炭素化の推進	●
		2 3Rの推進とごみ処理の適正化	
		3 污水处理の推進	
	3 上水道の充実	1 安定給水の確保	
		2 水質の安全性の確保	
		3 地震等の災害対策	
		4 経営の健全化と広域化の推進	
	4 防犯・交通安全の推進	1 防犯体制の充実	
		2 児童・生徒の安全確保	
		3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理	
		4 消費者トラブルの防止	
		5 交通安全意識の向上	
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり 「産業経済の振興」	1 農林水産業の振興	1 経営の安定化の推進	
		2 担い手の育成・支援	●
		3 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大	
		4 農業基盤整備の推進	
		5 森林再生の推進	●
	2 商工業の振興と地域経済活性化	1 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進	●
		2 工業の振興	●
		3 成田空港経済圏の形成	●
	3 観光の振興	1 魅力ある観光事業の推進	●
		2 海岸を活用した観光推進	
		3 観光情報の発信	

政策名		施策名	基本事業名	重点分野
4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	1 高齢者福祉の充実	1 生きがいづくりと介護予防の推進	●
			2 暮らしを支えるサービスの充実	
			3 支えあいの仕組みづくりの促進	
			4 介護保険サービスの推進と適正運営	
			5 高齢者の人権尊重	
		2 障がい者（児）福祉の充実	1 自立支援サービスの促進	
			2 地域生活支援の促進	
			3 発達が気になる子への支援	
			4 障がいのある人の人権尊重	
		3 健康づくりの推進	1 心身の健康管理の充実	●
			2 健診の受診率向上と生活習慣の改善	
			3 母子の健康管理	
			4 子どものむし歯対策の推進	
			5 感染症等対策の推進	
			6 医療体制の充実	●
			7 健康保険制度の安定的な運営	
		4 子育ての支援	1 幼保機能の充実	
			2 学童保育の充実	
			3 子育て不安の軽減	
			4 子育て家庭への援助	
			5 子どもの人権の尊重	
			6 次世代育成に係る家族形成の支援	●
		5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進	1 地域福祉の担い手育成	
			2 社会福祉機関・団体の充実	
			3 生活困窮者自立支援の充実	
			4 生活保護制度の適正な実施	
			5 公営住宅の維持管理	
5	生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり	1 学校教育の充実	1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	
			2 「健やかな体」の育成	
			3 「豊かな心」を育む	
			4 ICT教育の実践	
			5 教育環境の整備	●
			6 地域と学校の協力体制の推進	
		2 生涯学習の推進	1 主体的な学習の推進	
			2 生涯学習施設の利用促進	
			3 文化財の保護・活用	
			4 芸術文化活動の充実	
			5 青少年の育成	
		3 スポーツの振興	1 スポーツ活動の充実	
			2 体育関係団体・指導者の育成	
		4 人権尊重のまちづくり	3 体育施設の利用促進	
			1 人権教育・人権啓発の推進	
			2 人権擁護の推進	
			3 男女共同参画の推進	
6	市民と行政が協働してつくるまちづくり	1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化	
			2 市民活動の活性化	
			3 協働のまちづくり推進の仕組みづくり	
			4 多文化共生社会の推進	
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 広報の充実	
			2 広聴の充実	
			3 市の魅力発信の強化	●
			4 議会情報の公開の推進	
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進	
			2 人材育成と効率的な組織運営	
			3 健全な財政運営	●
			4 税収の確保	
			5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	●
			6 自治体DXの推進と市民サービスの向上	●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理	
			2 積極的な選挙啓発	
			3 監査の充実	
			4 情報公開及び個人情報保護の推進	
			5 適正な戸籍・住民基本台帳事務管理	
			6 公平・公正な課税	

6. 施策の進み具合の報告

(1) 評価結果の見方

政策 01 暮らしとまちづくり経済おもしろさづくり

施策 01 地域核を「まちづくり」で支える施策の推進

総合計画の体系です。6つの政策、23の施策、104の基本事業があります。

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・市 対象：誰を（何を）	地域核の拠す。施策・基本事業のめざす姿を記載しています。
基準値は一部を除き令和3年度、めざそう値は令和8年度となります。	

施策の成果状況と評価

指標①	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値														
	【土木課】	%	56.7	57	58.1	56.7	☀️(横ばい)														
評価	<令和5年度58.1ポイント未満が目標 施策・基本事業の成果指標ごとに評価内容を記載しています。 評価結果に基づき、次年度以降の施策、事業の方向性を検討するための判断材料として活用します。 実績値の推移をグラフで示しています		(%) <table border="1"><caption>実績値の推移</caption><thead><tr><th>指標</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>56.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>57</td></tr><tr><td>R05</td><td>57</td></tr><tr><td>R06</td><td>58.1</td></tr><tr><td>R07</td><td>58.1</td></tr><tr><td>R08</td><td>56.7</td></tr></tbody></table>				指標	値	基準	56.7	R04	57	R05	57	R06	58.1	R07	58.1	R08	56.7	対前年度
							指標	値													
基準	56.7																				
R04	57																				
R05	57																				
R06	58.1																				
R07	58.1																				
R08	56.7																				
							☀️(横ばい)														
							達成状況														
							🏰(達成)														

【評価区分】

- ☀️ (上)：成果が順調に推移しているもの
- ☀️ (横ばい)：成果が横ばい又はやや向上しているもの
- ☁️ (横ばい)：成果が横ばい又はやや低下しているもの
- ☔️ (下)：成果が低下しているもの

—：比較不可

【達成状況】

- 🏰 (成)：めざそう値を達成しているもの
- (高)：めざそう値に近いもの
- (中)：「高」と「低」の間のもの
- (低)：基準値から悪化しているもの

—：比較不可

(2) 施策・基本事業評価結果

【政 策】

1 暮らしを支える快適なまちづくり

【施 策】

1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

1-2 持続可能な公共交通網の整備の推進

1-3 災害に強い強靱なまちづくりの推進

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・駅周辺の市街地においても、人口減少が進んでいることから、駅の交通結節機能を活かした魅力と賑わいを形成するため、駅周辺の都市計画道路の整備を促進します。その他の地域は、人口減少に伴い増加する空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成を図ります。

・国・県道などの幹線道路については、交通混雑の緩和や歩行空間の確保が求められており、関係機関と連携し整備促進を図ります。

・生活道路の整備については、児童・生徒の通学時の安全確保の重要性が高まっています。また、成田空港の機能強化に伴い、成田空港へのアクセスの向上が求められていることから、産業振興を視野に入れた整備促進を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度(%)	成果	57	58.1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)(km)	成果	1.65	3.24	☀ (横ばい)	☂ (低下)	
01	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	4	5	☂ (低下)	☂ (低下)	○
02	成田空港関連事業実施箇所数(計画期間累計)(箇所)	成果	23	84	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)(%)	成果	64.3	61.1	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
04	遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)(箇所)	成果	0	2	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	空家改善数(計画期間累計)(件)	成果	29	41	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
05	景観条例指導件数(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
06	交通安全施設設置等による危険解消箇所数(計画期間累計)(箇所)	成果	5	17	☀ (横ばい)	☀ (向上)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 市全域	地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

施策の成果状況と評価

指標	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【土木課】	%	56.7	57	58.1	56.7	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度は 58.1%で、基準値と比較して1.4ポイント増加、前年度と比較して1.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 松尾駅前排水対策工事を実施していることや、成東駅南側駅前広場が整備され快適性が向上したことが要因と考えます。						対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 道路・橋りょうの整備・維持管理

基本事業 02 成田空港周辺地域としての基盤整備

基本事業 03 駅周辺の利便性の向上

基本事業 04 公園の再整備と適正な管理

基本事業 05 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

基本事業 06 交通安全施設の整備

基本事業01 道路・橋りょうの整備・維持管理

指標	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【土木課】	件	1	4	5	0	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数は5件で、基準値と比較して4件増加、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 道路の老朽化に伴い、維持・修繕箇所は増加傾向にあり、道路パトロール等により道路状況を把握に努めていましたが、安全性の確保が出来なかったことが要因と考えられます。						☂ (低下)
		(件)					対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業03 駅周辺の利便性の向上

指標	駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	%	62	64.3	61.1	64	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の駅周辺の利便性に対する満足度は61.1%で、基準値と比較して0.9ポイント低下、前年度と比較して3.2ポイント低下しています。 < 原因 > 成東地域では、成東駅南側駅前広場が整備され利便性が向上していることから、一定数の満足度が得られていると考えます。その他の地域は、駅前の利用方法や活用方法等が駅利用者のニーズに対応できていないことが、満足度が低下した要因と考えます。						☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)
		(%)					対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業04 公園の再整備と適正な管理

指標	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	件	0	1	0	0	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数は0件で、基準値と比較して同値、前年度と比較して1件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 予防保全に努め、遊具の破損等を未然に防ぐことができたことが要因と考えます。						☀ (向上) 達成状況 ■■■ (達成)
		(件)					対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (達成)

基本事業05 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	空家改善数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	件	0	29	41	68	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度空家改善数(計画期間累計)は41件で、基準値と比較して41件増加、前年度と比較して12件増加しました。 < 原因 > 空家所有者への適正管理に対する助言書の通知や、民間事業者と協定を締結し、官民連携による啓発(資産価値判定システムの提供等)を実施したことにより、空家の適正管理に対する所有者意識が高まり、空家の改善に繋がったことが要因と考えます。						☀ (向上) 達成状況 ■■■ (中)
		(件)					対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (中)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・人口減少及び少子高齢化（令和 6 年 4 月 1 日現在、高齢化率37.6%）が急激に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあるため、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。
- ・市内の移動に係る公共交通については、市内 3 区域内を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、持続可能な公共交通の確立を目指します。
- ・市外の移動に係る公共交通については、人口減少等の影響により鉄道及び路線バスの利用者が減少していますが、利用の促進等、運行会社と連携し維持・存続を図ります。
- ・本計画期間では、令和 5 年度中に策定した地域公共交通計画（計画期間：令和 6 年度から10年度）に沿って、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりに計画的に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公共交通網の満足度 (%)	成果	41.1	42.7	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
市内移動の交通手段に困っている市民の割合 (%)	成果	39.2	41.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内公共交通利用者数 (基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等) (人)	代替	130,356	126,242	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
01	バス運行状況の満足度 (%)	成果	40	39.8	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	成田空港方面への年間バス利用者数 (人)	成果	20,222	19,871	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
03	1日当たりの鉄道利用者数 (人)	代替	3,961	3,957	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 持続可能な公共交通網の整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 交通事業者	・ 公共交通機関の特性を活かし、市民生活の移動手段が確保され、移動の利便性が高まります。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通網の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	45.1	41.1	42.7	46	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の公共交通網の満足度は42.7%であり、基準値と比較して2.4ポイント減少、前年度と比較して1.6ポイント増加しました。 < 原因 > J R 東日本のダイヤ改正により、特急電車が大幅に減少したことや、2024年問題に起因する運転手不足等の影響により、成東車庫からの東京駅や千葉駅行きの高速バス等が減便されたことが、要因として考えられます。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	37.7	39.2	41.2	37.7	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市内移動の交通手段に困っている市民の割合は41.2%であり、基準値と比較して3.5ポイント増加、前年度と比較して2.0ポイント増加しました。 < 原因 > アンケート結果では、地域別で成東38.5%、山武45.9%、蓮沼35.0%、松尾43.2%で山武・松尾地域の割合が高くなっています。また、年齢別では10歳代が72.0%、職業別では学生が74.7%と割合が高くなっていることから、通学などへの若年層の交通手段確保に配慮した取り組みが不十分であることが要因であると考えられます。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内における交通手段の確保

基本事業 02 バスでの成田空港方面へのアクセス向上

基本事業 03 鉄道の利便性向上

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	人	124,803	130,356	126,242	126,000	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の市内公共交通利用者数は126,242人であり、基準値と比較して1,439人増加、前年度と比較して4,114人減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 乗合タクシーの利用者数は、60人減少しましたが、基幹バス利用者数が234人増加し、前年度同様に好調であることが一番の要因となっています。ただし、民間事業者が運行している八街線の利用者数は、通学で利用していた児童数の減少に伴い、4,499人の減少となっています。						☀ (向上)
		(人)					☁ (横ばい)

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	バス運行状況の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	41.8	40	39.8	50	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のバス運行状況の満足度は39.8%であり、基準値と比較して2.0ポイント減少し、前年度と比較し0.2ポイント減少しました。 < 原因 > 運転手不足に起因するダイヤ見直し等の影響により、民間事業者が運行する路線バスである千葉線及び高速バスであるフラワーライナーとシーサイドライナーが減便されたことなどが、満足度が低下した要因として考えられます。						☁ (横ばい)
		(%)					☁ (横ばい)

基本事業02 バスでの成田空港方面へのアクセス向上

指標	成田空港方面への年間バス利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【空港地域振興課】	人	15,358	20,222	19,871	26,500	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の市内より成田空港方面への年間バス利用者数は19,871人であり、基準値と比較して4,513人増加しましたが、前年度と比較して351人減少しました。 < 原因 > 昨今の人口減少の影響や、空港従事者や学生、円安などにより出国する日本人観光客などの空港利用者の減少が要因と考えられます。						☁ (横ばい)
		(人)					☁ (横ばい)

基本事業03 鉄道の利便性向上

指標	1日当たりの鉄道利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	人	3,670	3,961	3,957	4,500	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の1日当たりの鉄道利用者数は3,957人であり、基準値と比較して287人増加しましたが、前年度と比較して4人減少しました。 < 原因 > 各駅の利用者の内訳は、成東駅2,554人（前年比13人増）、日向駅680人（前年比7人減）、松尾駅723人（前年比10人減）という状況です。定期券の利用者数が3駅で40人減少していることから、通勤や通学をする年代の人口減少が要因であると考えます。						☁ (横ばい)
		(人)					☁ (横ばい)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・防災・減災の取組には、「自助」が重要であり、市民一人ひとりの災害に対する意識や知識の向上を図ります。
- ・災害に備えるため、自主防災組織の活動を活性化させる支援を行い、地域防災力の強化を図ります。
- ・個別避難計画の作成に取り組み、避難の実効性確保を図ります。
- ・避難所の迅速な開設や適切な運営には、地域等による「共助」が不可欠なことから、避難所運営委員会の設立を推進し、地域住民同士が連携し、主体として避難所を開設・運営する体制を整えます。
- ・災害に強いまちづくりを図るため、災害時等の活動拠点、地域の避難場所として機能する防災拠点の再整備を推進していきます。
- ・地域防災力の強化には消防団員の確保が必要です。団員の消防技術の維持・向上のため、訓練に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
災害 火災による死者数 (人)	成果	2	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)(項目)	成果	4.9	4.72	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	自主防災組織数(組織)	成果	92	94	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	自主防災組織の訓練実施割合(%)	成果	21.7	29.8	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	個別避難計画の作成割合 (個別計画策定対象者分)(%)	成果	2.4	7.3	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	避難所運営委員会設置割合(%)	成果	4.1	4.1	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	職員訓練(機能別、避難所開設・運営等)回数(回)	成果	4	4	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	食糧・飲料・物品の備蓄率(%)	成果	88.3	90.2	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
03	災害情報発信システム 防災施設の不具合件数(件)	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間 累計)(事業)	成果	5	11	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	火災の損害額(千円)	成果	68,008	112,574	☂ (低下)	☂ (低下)	
05	火災による死者数(人)	成果	2	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 03 災害に強い強靱なまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・消防団 ・関係機関 ・行政 ・常備消防	・市民、地域、行政の防火・防災対策が推進され、被害が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	災害・火災による死者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【消防防災課】	人	4	2	0	0	☀ (向上)														
評価	< 状況 > 令和 6 年度の災害・火災による死者数は 0 人で、基準値と比較し 4 人減少、前年度と比較し 2 人減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 市や各区・自治会、自主防災組織における防災訓練の実施、広報紙等での防災・減災に対する普及啓発の実施によって市民の防災意識の向上につながったこと。また、火災件数は基準年と同数、前年度から10件減少したことや、火災予防啓発等を継続して推進していることが要因の一つと思われます。			(人) <table><caption>Graph Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Deaths</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4</td></tr><tr><td>R04</td><td>4</td></tr><tr><td>R05</td><td>2</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td></tr></tbody></table>			Year	Deaths	基準	4	R04	4	R05	2	R06	0	R07	0	R08	0	対 前年度
							Year	Deaths													
基準	4																				
R04	4																				
R05	2																				
R06	0																				
R07	0																				
R08	0																				
							☀ (向上)														
							達成 状況														
							🏰 (達成)														

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防災意識・知識の向上

基本事業 02 地域防災力の向上

基本事業 03 災害対応力の向上

基本事業 04 強靱化対策の推進

基本事業 05 消防力の充実

基本事業01 防災意識・知識の向上

指標	災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		項目	5.01	4.9	4.72	7	☁ (横ばい)
評価	【消防防災課】 (項目) ＜状況＞ 令和6年度の災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)は4.72項目で基準値と比較して0.29項目減少し、前年度と比較し0.18項目減少しました。 ＜原因＞ アンケート項目「ハザードマップを確認している」の数値が前年度と比較して低下しています。大きな災害が発生しなかった場合、この項目の数値が低下することが予想され、指標値低下の一因と考えられます。						☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)

基本事業02 地域防災力の向上

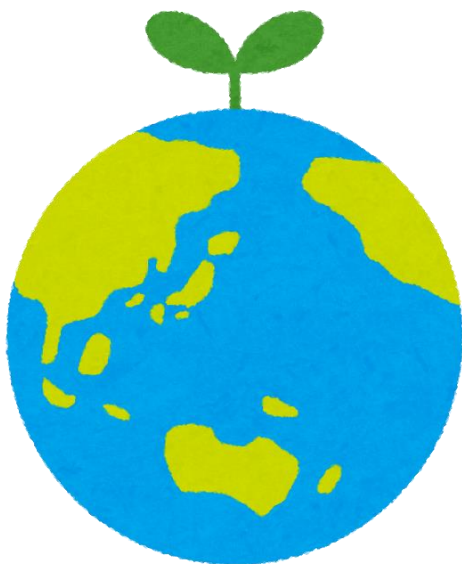
指標	自主防災組織の訓練実施割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	15.6	21.7	29.8	30	☀ (向上)
評価	【消防防災課】 (%) ＜状況＞ 令和6年度の自主防災組織の訓練実施割合は29.8%(28組織/94組織)で基準値と比較して14.2ポイント向上、前年度と比較して8.1ポイント向上しました。 ＜原因＞ 新たに設立された自主防災組織が、訓練実施していることや、近年の災害の頻発、激甚化による市民の防災意識の向上が要因と考えられます。						☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業04 強靱化対策の推進

指標	国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		事業	0	5	11	9	☀ (向上)
評価	【消防防災課】 (事業) ＜状況＞ 令和6年度の国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計)は11事業で基準値と比較して11事業増加、前年度と比較し6事業増加し、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 適切な進捗管理のもと各事業が実施されたことが要因です。引き続き災害に強いまちづくりを目指し事業の実施に努めます。(完了事業: 幼稚園施設整備事業、こども園施設整備事業、小学校施設改修事業、さんぶの森公園改修事業、成東259号線道路改良事業、小学校空調設備改修事業)						☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業05 消防力の充実

指標	火災による死者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		人	4	2	0	0	☀ (向上)
評価	【消防防災課】 (人) ＜状況＞ 令和6年度の火災による死者数は0人で、基準値と比較して4人減少、前年度と比較して2人減少し、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 火災件数は基準年と同数、昨年度からは10件減少しています。また、火災予防啓発等を継続して推進していることも要因の一つと考えられます。						☀ (向上)
							☀ (向上)



【政 策】

2 住みやすい環境と安全なまちづくり

【施 策】

2-1 生活環境の充実

2-2 脱炭素・循環型社会の形成

2-3 上水道の充実

2-4 防犯・交通安全の推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・管理不良状態にある空き地については、管理者に対し、適切な行政指導を行うなど、生活環境の美化を推進します。
- ・美化運動を通じて、市民や事業者の生活環境に関する意識向上に取り組むとともに、快適な生活環境の維持に取り組んでいきます。
- ・産業廃棄物の不法投棄件数は、令和6年度12件、令和5年度38件、令和4年度18件と推移しています。パトロールや県等の関係機関との連携を強化し、不法投棄の防止に取り組んでいきます。
- ・成田国際空港の機能強化に伴い、航空機による騒音への対策が必要となることから、成田国際空港株式会社や公益財団法人成田空港周辺地域共生財団などと連携しながら、防音工事等を実施し、生活環境の改善に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合（％）	成果	66.3	73.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○
生活環境に関する苦情件数（件）	成果	231	190	☀ (向上)	☀ (向上)	○
住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合（％）	成果	76.3	75.2	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	空地の管理（雑草等）苦情件数（件）	成果	15	5	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	その他生活公害苦情件数（件）	成果	66	61	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	産業廃棄物不法投棄件数（件）	成果	38	12	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	一般廃棄物等不法投棄件数（件）	成果	112	109	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	ごみゼロ運動参加者数（人）	成果	9,091	7,480	---	☂ (低下)	○
03	航空機騒音対策に対する満足度（％）	成果	79.9	78.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 01 生活環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 快適に暮らせる生活環境が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	%	66.6	66.3	73.4	70	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の快適な生活環境が整っていると思う市民の割合は73.4%で、基準値より6.8ポイント増加、前年度より7.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > アンケートの集計結果を分析すると、空き地の管理、不法投棄、犬・猫の管理に関する苦情が減少傾向となっており、生活環境に対して問題意識を持ち、対応する方が多くなっていることが要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)
指標	生活環境に関する苦情件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	件	242	231	190	234	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の生活環境に関する苦情件数は190件で、基準値より52件減少、前年度より41件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 廃棄物の不法投棄監視の強化や管理不良状態にある空き地の管理者に対する継続的な指導の実施したことが苦情件数が減少した要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)
指標	住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【空港地域振興課】	%	81.7	76.3	75.2	75	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の航空機騒音を不快に感じる市民の割合は、75.2%で、基準値と比較して6.5ポイント減少、前年度より1.1ポイント減少しました。 < 原因 > 成田国際空港の発着する航空機の便数は増加しましたが、寝室内窓工事及び防音工事、空調機の更新工事が進んだことが要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 🏰 (高)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を抑制していくことが求められています。家庭や事業所での効率的なエネルギーの利用を促進していくとともに、環境に配慮した省エネ機器の導入や再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでいきます。

・家庭ごみの減量化・再資源化に対する意識の向上を図ります。

・市民から排出されるごみの適正な分別の意識を高め、3 Rを総合的に推進し、ごみの排出量の減量化に取り組んでいきます。

・2028年度からは、成東地域のごみ処理も山武郡市環境衛生組合で取り扱うことから、指定ごみ袋制度やごみの収集方法の一本化に向け調整を図ります。

・未処理の生活排水が適正に処理されるよう、単独処理浄化槽、くみ取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
山武市の温室効果ガス(CO ₂)排出量(tCO ₂)	成果	687千	622千	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
1人1日あたりのごみの排出量(g)	成果	758	748	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
污水处理人口普及率(%)	成果	67.7	62.8	☂ (低下)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	再生可能エネルギーの導入量(kw)	成果	107,333	109,146	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	山武市役所における温室効果ガス(CO ₂ 等)排出量(tCO ₂)	成果	4,678	4,101	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
01	木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量(t)	成果	2,349.1	2,822.5	☂ (低下)	☀ (向上)	
01	省エネへの生活様式平均実践項目数(項目)	成果	3.12	3	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	家庭ごみ排出量(t)	成果	9,348	9,384	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	再資源化率(%)	成果	21.3	20.7	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	ルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数(件)	成果	3,315	3,341	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)(円)	成果	11,024	12,685	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	合併処理浄化槽設置基数(基)	成果	60	45	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	農業集落排水供用戶数(戸)	成果	1,059	1,078	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

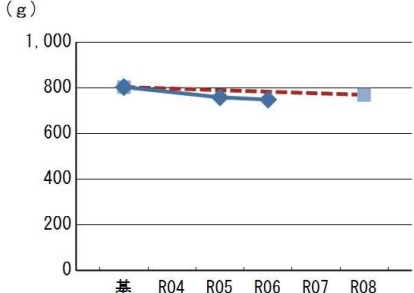
施策 02 脱炭素・循環型社会の形成

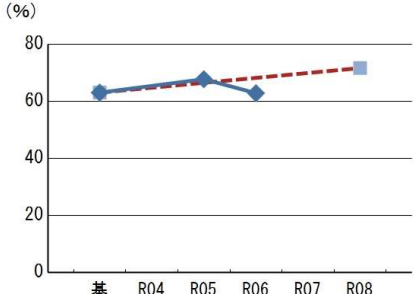
施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
	自然環境にやさしいまちにむけて、環境負荷の少ない生活を実践し、温室効果ガスや廃棄物、汚水の排出が抑制されています。

施策の成果状況と評価

指標	山武市の温室効果ガス（CO2）排出量	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	tCO2	659千	687千	622千	522千	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の山武市の温室効果ガス（CO2）排出量は622千tCO2で、基準値と比較して37千tCO2減少、前年度と比較して65千tCO2減少しました。 < 原因 > 家庭部門と運輸部門が増加し、産業部門と廃棄物分野が減少したことが要因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

指標	1人1日あたりのごみの排出量	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	g	803	758	748	769	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の1人1日あたりのごみの排出量は748gで、基準値より55g減少、前年度と比較して10g減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 資源回収運動の団体数等減少や事業系ごみ発生量の減少が、ごみ排出量が減少した要因と考えられます。						(g)  対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■ (達成)

指標	汚水処理人口普及率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	%	63	67.7	62.8	71.6	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の汚水処理人口普及率は62.8%で、基準値と比較して0.2ポイント減少、前年度と比較して4.9ポイント減少しました。 < 原因 > 単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換補助金の交付や農業集落排水の供用戸数の増加はしたものの、出典元である県の単独処理浄化槽基数の数値が増加したことが主な要因と考えられます。						(%)  対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域脱炭素化の推進

基本事業 02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

基本事業 03 汚水処理の推進

基本事業01 地域脱炭素化の推進

指標	山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	tCO2	4,274	4,678	4,101	3,573	☀️ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の山武市役所における温室効果ガス排出量は4,101tCO2で、基準値と比較して173tCO2減少、前年度と比較して577tCO2減少しました。 < 原因 > 市役所全体において、職員の省エネの実践により電気、ガス、燃料の使用量が抑えられたことが、温室効果ガス（CO2等）排出量の削減につながったと考えられます。						☀️ (向上) 達成状況 ■ (低)
		(tCO2)					☀️ (横ばい) 対前年度 ☀️ (向上) 達成状況 ■ (低)

基本事業02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

指標	家庭ごみ排出量	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	t	10,264	9,348	9,384	9,896	☀️ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の家庭ごみ排出量は9,384tで、基準値より880t減少、前年度と比較して36t増加しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 家庭用生ごみ堆肥化装置補助金やリサイクル倉庫の活用により市民の意識が向上しており、ごみの減量化が継続していることが要因と考えられます。						☀️ (横ばい) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 ■ (達成)
		(t)					☀️ (横ばい) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 ■ (達成)

基本事業02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

指標	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	円	11,062	11,024	12,685	12,578	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の1人当たりの負担金額は12,685円で、基準値より1,623円増加、前年度と比較して1,661円増加しました。 < 原因 > 成東地域のごみ袋作成経費や山武都市環境衛生組合新施設建設に係る経費が増加したことが、増加となった要因と考えられます。						☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 達成状況 ■ (低)
		(円)					☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 達成状況 ■ (低)

基本事業03 汚水処理の推進

指標	合併処理浄化槽設置基数	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	基	58	60	45	70	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の合併処理浄化槽設置基数は45基で、基準値と比較して13基減少、前年度と比較して15基減少しました。 < 原因 > 世帯の高齢化や、物価高騰による工事費の増加などにより、費用負担の面から転換工事に消極になったことが要因と考えられます。						☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 達成状況 ■ (低)
		(基)					☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 達成状況 ■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・水道管等の施設の老朽化に伴う更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化に取り組んでいます。
- ・衛生的な水を安定的に供給するために、加入促進に取り組んでいます。
- ・近年の大規模な自然災害や水質事故等の緊急時に迅速な対応が取れるよう、マニュアルの充実を図り、応急給水対策に取り組んでいます。
- ・供給事業については、令和8年4月1日から九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体は事業統合し、県営水道が経営することになるため、準備を進めています。
- ・給水事業については、山武郡市広域水道企業団、山武市営水道、長生郡市広域市町村圏組合、八戸水道企業団の末端給水事業体による、統合・広域化の基本計画策定に向けて協議検討を進めています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
上水道普及率【市営水道】(%)	成果	56.5	56.8	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
上水道普及率【広域水道】(%)	成果	81.6	81.9	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	漏水事故件数【市営水道】(件)	成果	0	1	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
01	漏水事故件数【広域水道】(件)	成果	33	34	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	水質の苦情件数【市営水道】(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	水質の苦情件数【広域水道】(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	応急給水資機材の備蓄割合【市営水道】(%)	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	応急給水資機材の備蓄割合【広域水道】(%)	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	経常収支比率【市営水道】(%)	成果	102.9	107.1	☁ (横ばい)	☀ (向上)	○
04	経常収支比率【広域水道】(%)	成果	102.3	101	☂ (低下)	☂ (低下)	
04	広域化に関する承認件数【市営水道】(件)	成果	0	0	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

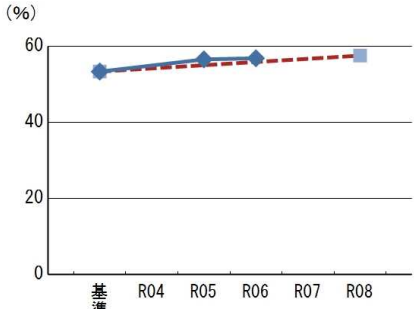
政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

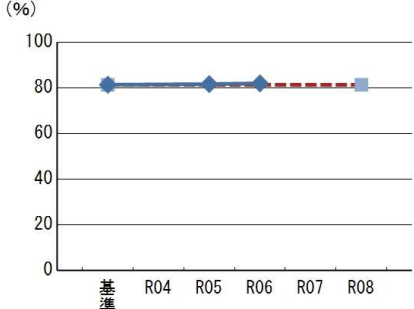
施策 03 上水道の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安定した水道水を使う市民が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標	上水道普及率【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【水道課】	%	53.3	56.5	56.8	57.5	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の上水道普及率【市営水道】は56.8%で、基準値と比較して3.5ポイント増加、前年度と比較して0.3ポイント増加しました。 < 原因 > 新築戸建の増加、井戸から水道水への切替により水道利用者が増加したためです。						対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■ (高)

指標	上水道普及率【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	%	81.3	81.6	81.9	81.3	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の上水道普及率【広域水道】は81.9%で、基準値と比較して0.6ポイント増加、前年度と比較して0.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 転入者が新たに水道を利用開始したことが要因と考えられます。						対 前年度
							☀ (向上)
							達成 状況
							🏠 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	安定給水の確保
基本事業	02	水質の安全性の確保
基本事業	03	地震等の災害対策
基本事業	04	経営の健全化と広域化の推進

基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【水道課】	件	1	0	1	0	(横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の漏水事故件数【市営水道】は1件で、基準値を維持し、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 経年による劣化が漏水の要因であるため、配水量の監視等を適正に行い、維持管理に努め、漏水を未然に防止します。						(横ばい)
							対前年度 (低下) 達成状況 (中)

基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【水道課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の水質の苦情件数【市営水道】は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 浄水場の薬品注入設備や水質測定機器の定期修繕、水道管末端での排水作業による管洗浄及び水質検査等の実施により、適正な水質基準を満たしていることが要因です。						(向上)
							対前年度 (向上) 達成状況 (達成)

基本事業04 経営の健全化と広域化の推進

指標	経常収支比率【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【水道課】	%	108	102.9	107.1	106.9	(横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の経常収支比率【市営水道】は107.1%で、基準値と比較して0.9ポイント減少しましたが、前年度と比較して4.2ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 設備関連の修繕工事が減少したため、経常収支比率が増加したためです。						(横ばい)
							対前年度 (向上) 達成状況 (達成)

基本事業04 経営の健全化と広域化の推進

指標	広域化に関する承認件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【水道課】	件	1	0	0	1	(横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の広域化に関する承認件数は0件で、基準値と比較して1件減少、前年度と同数となりました。 < 原因 > 九十九里地域末端給水事業体と構成市町村との覚書締結を延期したためです。						(横ばい)
							対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・ 刑法犯認知件数のうち約84.0%は窃盗犯であり、その多くは金属窃盗等の非侵入盗であることから、ドライブレコーダーを搭載した青色パトロールカーを活用した防犯活動を推進します。
- ・ 消費生活センター等の相談体制を確保することにより、電話de 詐欺といった特殊詐欺をはじめとする消費者トラブルの防止に努めます。
- ・ 令和4年に道路交通法が改正され、安全運転管理者による運転者の酒気帯び確認が義務化されました。
- ・ 交通安全計画に基づき施策を展開します。高齢者、幼児、児童・生徒及びドライバー等の対象者に応じた交通安全施策に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数 (件)	社会	7	8	☂ (低下)	☂ (低下)	○
人口1,000人当たりの交通事故発生件数 (件)	成果	2.8	1.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数 (団体)	成果	32	32	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
01	防犯活動を行っている協力者数 (人)	成果	369	381	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	登下校時における児童・生徒の事件・事故件数 (件)	成果	7	5	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
03	防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数 (計画期間累計) (箇所)	成果	128	211	☀ (向上)	☂ (低下)	○
04	消費者トラブルにあった市民の割合 (%)	成果	4.8	3.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数 (回)	成果	4	3	☂ (低下)	☂ (低下)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 04 防犯・交通安全の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安心して住めるまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
	【市民自治支援課】	件	5	7	8	5	☂ (低下)										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は 8 件で、基準値と比較して 3 件、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 近年、山武市内で銅線等の金属盗難事件が増加傾向にあることが原因です。	(件) <table><caption>刑法犯認知件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>5</td></tr><tr><td>R05</td><td>7</td></tr><tr><td>R06</td><td>8</td></tr><tr><td>めざそう値 (R08)</td><td>5</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	5	R05	7	R06	8	めざそう値 (R08)	5	対 前年度 ☂ (低下) 達成 状況 ■■■ (低)
	項目	値															
基準	5																
R05	7																
R06	8																
めざそう値 (R08)	5																

指標	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
	【市民自治支援課】	件	2.3	2.8	1.4	2.3	☀ (向上)										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の人口1,000人当たりの交通事故発生件数は1.4件で、基準値と比較して0.9件、前年度と比較して1.4件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 交通安全啓発活動により、交通ルール・マナーの意識向上が図られたことが要因の一つと考えられます。	(件) <table><caption>交通事故発生件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2.3</td></tr><tr><td>R05</td><td>2.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>1.4</td></tr><tr><td>めざそう値 (R08)</td><td>2.3</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	2.3	R05	2.8	R06	1.4	めざそう値 (R08)	2.3	対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 ■■■ (達成)
	項目	値															
基準	2.3																
R05	2.8																
R06	1.4																
めざそう値 (R08)	2.3																

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防犯体制の充実

基本事業 02 児童・生徒の安全確保

基本事業 03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理

基本事業 04 消費者トラブルの防止

基本事業 05 交通安全意識の向上

基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	団体	28	32	32	28	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の防犯活動を行っている区・自治会や団体の数は32団体で、基準値と比較して4団体増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 防犯協会等による防犯パトロールや市広報紙などを活用した広報啓発活動が定着し、各地域の防犯意識が広がっていることが要因と考えられます。	(団体)					☀ (向上)
							☀ (横ばい)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業02 児童・生徒の安全確保

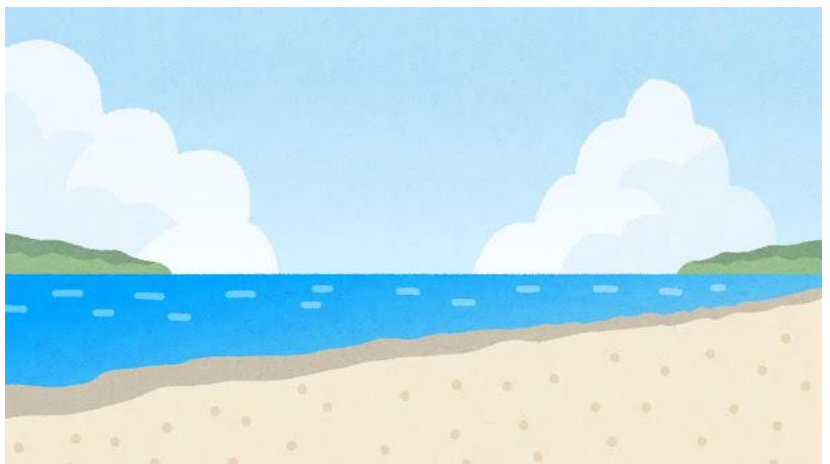
指標	登下校時における児童・生徒の事件・事故件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	件	5	7	5	-	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の登下校時における児童・生徒の事件・事故件数は5件でした。全て交通事故であり、基準値とは同値、前年度と比較すると2件減少しました。 < 原因 > 中学生の自転車での事故が5件ありました。そのうち3件は、自転車走行中の前方不注意が主な原因です。	(件)					☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (低)

基本事業03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理

指標	防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	箇所	104	128	211	100	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数（計画期間累計）は211箇所、基準値と比較して107箇所増加、前年度と比較して83件増加しました。 < 原因 > 各区・自治会長等を通じて、修繕が必要な防犯灯の通報が適切に行われたこと、LED化が進んでいることが要因と考えられます。	(箇所)					☀ (向上)
							☀ (低下)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業04 消費者トラブルの防止

指標	消費者トラブルにあった市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	%	5.3	4.8	3.4	4.4	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の消費者トラブルにあった市民の割合は3.4%で、基準値と比較して1.9ポイント減少、前年度と比較して1.4ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 消費者トラブル防止に向けた消費生活相談員による講座の開催や毎年実施している啓発物資の配布による高齢者見守り啓発を強化したことで、トラブルの未然防止及び詐欺や消費者被害への警戒感が高まったことなどが要因と考えます。	(%)					☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (達成)



【政 策】

3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

【施 策】

3-1 農林水産業の振興

3-2 商工業の振興と地域経済活性化

3-3 観光の振興

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・地域農業の中心的担い手の育成と確保のため、認定農業者の拡充及び新規就農者への支援に努めるとともに、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図り、農業所得の向上を目指します。
- ・農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を促進し、計画的な土地利用と優良農地の確保に努め、生産性の向上を図ります。
- ・地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の実現、生物多様性の保全や有機農業の推進、農地・農村・森林の持つ多面的機能の維持、食料の安定供給等といった「SDGs」や地球環境に配慮した農林業を推進していきます。
- ・山武市森林づくり審議会において、森林管理の在り方及び森林環境譲与税の活用について検討し、市民に広く恩恵のある森林づくりを推進していきます。
- ・森林整備及び木材利活用を推進していくことにより、地域産材である「サンブスギ」を保全し、そのブランド力の強化を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
農業所得(百万円)	成果	604	1,419	☀ (向上)	☀ (向上)	○
森林整備年間実施面積(計画期間累計)(ha)	成果	360.67	379.87	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	耕地面積(水田、畑)(ha)	成果	5,580	5,530	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
01	家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	農用地利用集積率(%)	成果	33.3	33.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	新規就農者数(計画期間累計)(人)	成果	5	9	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
03	ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数(件)	成果	2,076	7,168	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	オライはすめまの農林水産物の販売額(千円)	成果	134,907	142,236	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数(箇所)	成果	5	5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
05	森林整備事業年間実施箇所数(箇所)	成果	39	32	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
05	市補助制度を活用し、搬出された木材量(t)	成果	3,486	4,097	☂ (低下)	☀ (横ばい)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 01 農林水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 農林水産業従事者	・ 農業経営が安定し、所得額が増えます。 ・ 荒廃した森林が再生します。

施策の成果状況と評価

指標	農業所得	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
	【農政課】	百万円	668	604	1,419	1,264	☀ (向上)										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の農業所得は1,419百万円で、基準値と比較して751百万円増加、前年度と比較して815百万円増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 米不足により米価が上昇したことが主な要因であると考えられます。			(百万円) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>668</td></tr><tr><td>R05</td><td>604</td></tr><tr><td>R06</td><td>1,419</td></tr><tr><td>R08</td><td>1,264</td></tr></tbody></table>			年度	実績値	基準	668	R05	604	R06	1,419	R08	1,264	対 前年度
							年度	実績値									
基準	668																
R05	604																
R06	1,419																
R08	1,264																
							☀ (向上)										
							達成 状況										
							🏰 (達成)										

指標	森林整備年間実施面積（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 （R05）	実績値 （R06）	めざそう値 （R08）	対 基準値										
	【農政課】	h a	329.07	360.67	379.87	481.32	☀ (横ばい)										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の森林整備年間実施面積（累計）は379.87haで、基準値と比較して50.8ha増加、前年度と比較して19.2ha増加しました。 < 原因 > 大規模な森林整備を行える国の補助事業の要件が変更されたため、大規模な森林整備は難しくなりましたが、市単独の森林整備に係る補助金の対象期間を 3 か月から通年に拡大したことで、森林整備面積が増加した要因と考えられます。		(h a) <table><caption>森林整備年間実施面積実績値 (h a)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>329.07</td></tr><tr><td>R05</td><td>360.67</td></tr><tr><td>R06</td><td>379.87</td></tr><tr><td>R08</td><td>481.32</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	基準	329.07	R05	360.67	R06	379.87	R08	481.32	対 前年度
							年度	実績値									
基準	329.07																
R05	360.67																
R06	379.87																
R08	481.32																
							☀ (向上)										
							達成 状況										
							■■■ (低)										

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営の安定化の推進

基本事業 02 担い手の育成・支援

基本事業 03 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大

基本事業 04 農業基盤整備の推進

基本事業 05 森林再生の推進

基本事業01 経営の安定化の推進

指標	耕地面積(水田、畑)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【農政課】	h a	5,700	5,580	5,530	5,650	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の耕地面積は5,530haで、基準値と比較して170ha減少、前年度と比較して50ha減少しました。 < 原因 > 営農の効率化のため農用地の集積・集約化を支援していますが、農業者の高齢化等による離農や規模縮小が、耕地面積の減少した要因であると考えます。	(h a)					☂ (低下)
		(h a)					☂ (低下)

基本事業02 担い手の育成・支援

指標	農用地利用集積率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【農政課】	%	31.2	33.3	33.4	51	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の農用地利用集積率は33.4%で、基準値と比較して2.2ポイント増加、前年度と比較して0.1ポイント増加しました。 < 原因 > 離農や経営規模の縮小により、経営拡大を進める農業者へ農地の集積が進んでいますが、農地中間管理事業の認知不足や農地の借り手を見つけるまでに時間を要することから用地利用集積率が微増となっているものと考えられます。	(%)					☀ (横ばい)
		(%)					☀ (横ばい)

基本事業03 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大

指標	ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【農政課】	件	552	2,076	7,168	2,245	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度のふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数は7,168件で、基準値と比較して6,616件増加、前年度と比較して5,092件増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 米の流通不足により返礼品に米の選択が増加したことが主な要因と考えられます。	(件)					☀ (向上)
		(件)					☀ (向上)

基本事業05 森林再生の推進

指標	森林整備事業年間実施箇所数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【農政課】	箇所	20	39	32	30	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の森林整備事業年間実施箇所数は32箇所、基準値と比較して12箇所増加、前年度と比較して7箇所減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 令和 6 年度は 1 箇所当たりの面積が広い森林の整備が多かったことが、実施できた箇所数が減少した要因と考えられます。	(箇所)					☀ (向上)
		(箇所)					☀ (向上)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域の魅力を高める取組を通じて、商店街の連携強化と地域活性化を図ることが求められています。

・山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。

・市商工会を通じた施策等を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。

・成田空港の機能強化に伴う雇用の増加が見込まれることから、企業誘致の促進や市内小中学生への成田空港関連企業への興味・関心を高める事業を実施し、成田空港を核とした経済圏の形成に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数) (%)	社会	40.2	42.2	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内で日用品や食料品を買う市民の割合 (%)	成果	66.8	65.6	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	新規法人登録件数(計画期間累計)(件)	社会	125	195	☀ (向上)	☂ (低下)	○
01	法人市民税の増加事業所割合 (%)	成果	32	28	☀ (向上)	☂ (低下)	
02	市内工業団地の従業者数 (人)	成果	1,773	1,777	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	従業員一人当たりの製造品出荷額 (千円)	成果	59,230	58,306	☀ (向上)	☂ (低下)	
03	成田空港周辺自治体としての取組件数 (件)	代替	5	5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	成田空港内で働く市内従業員数 (人)	社会	478(R4)	478(R4)	---	---	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 02 商工業の振興と地域経済活性化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・事業者	・経営力があり、継続的に事業が推進されるとともに、雇用が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値	
	【商工観光課】	%	43.5	40.2	42.2	44	☂ (低下)	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の黒字化している事業者割合(法人税割を納めている事業者数)は42.2%であり、基準値と比較して1.3ポイント低下、前年度と比較して、2.0ポイント向上しました。 < 原因 > 人口減少等に伴う市場シェアの争奪戦が激化していること、人材確保が困難になってきていること、人件費、原材料費、エネルギーコストなどが上昇しているが、競争力維持や効率化のため、価格転嫁ができずに利益率が低下していることなどが、主要要因と考えられます。			(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08				対前年度
								☀ (横ばい)
								達成状況
								■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

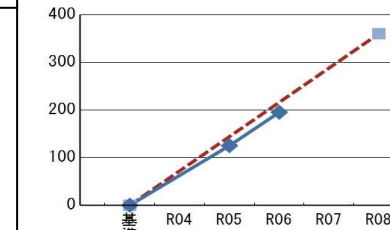
基本事業 02 工業の振興

基本事業 03 成田空港経済圏の形成

基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
	【商工観光課】	%	66.4	66.8	65.6	67																						
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市内で日用品や食料品を買う市民の割合は65.6%で、基準値と比較して0.8ポイント減少、前年度と比較して1.2ポイント減少しました。 < 原因 > 「地域応援！！山武市お買い物割引クーポン券」事業を令和 4、5 年度に実施したため、市内商店等での消費が喚起され、状況が好転していたものが落ち着いたことが要因と考えます。	<table border="1"><caption>市内で日用品や食料品を買う市民の割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>66.4</td><td>-</td><td>66.8</td><td>65.6</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>67.0</td></tr></tbody></table>					年度	基準	R04	R05	R06	R07	R08	実績値	66.4	-	66.8	65.6	-	-	めざそう値	-	-	-	-	-	67.0	(横ばい)
		年度	基準	R04	R05	R06	R07	R08																				
		実績値	66.4	-	66.8	65.6	-	-																				
		めざそう値	-	-	-	-	-	67.0																				
		対 前年度																										
(横ばい)																												
達成 状況																												
(低)																												

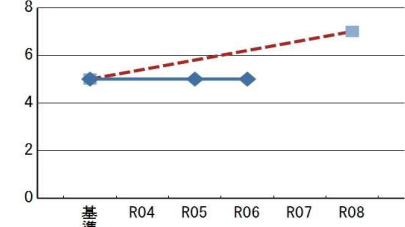
基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	新規法人登録件数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	0	125	195	360	
評価	【商工観光課】		(件)				(向上)
	< 状況 > 令和6年度の新規法人登録件数(累計)は195件で、前年度と比較して70件増加しました。 < 原因 > 人口減少による地域経済の縮小や、物価、人件費高騰等の影響により、起業する動機が弱まっていることが、前年度と比較して伸びが鈍化している主な要因と考えます。						対 前年度
							
							達成 状況
							

基本事業02 工業の振興

指標	市内工業団地の従業者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
		人	1,768	1,773	1,777	1,800																						
	【商工観光課】	(人)					(横ばい)																					
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市内工業団地の従業者数は、1,777人であり、基準値と比較して、9 人増加、前年度と比較して 4 人増加しました。 < 原因 > 経済活動が順調で、それに伴い生産能力を増強するために従業員を確保していることが、要因と考えます。しかしながら、従業者数を維持することも難しい状況であることが企業からもたらされています。	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>1,768</td><td>-</td><td>1,773</td><td>1,777</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1,800</td></tr></tbody></table>					年度	基準	R04	R05	R06	R07	R08	実績値	1,768	-	1,773	1,777	-	-	めざそう値	-	-	-	-	-	1,800	対 前年度
		年度	基準	R04	R05	R06	R07	R08																				
		実績値	1,768	-	1,773	1,777	-	-																				
		めざそう値	-	-	-	-	-	1,800																				
								(横ばい)																				
						達成 状況																						
						 (低)																						

基本事業03 成田空港経済圏の形成

指標	成田空港周辺自治体としての取組件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値	
		件	5	5	5	7		
評価	【企画政策課】		(件)					(横ばい)
	< 状況 > 令和 6 年度の成田空港周辺自治体としての取組件数は 5 件であり、基準値と同値となりました。 < 原因 > 令和 6 年度において新規事業、廃止事業がなかったため、令和 5 年度と同じに 5 件となったことが要因です。							対 前年度
								
								(横ばい)
								達成 状況
							 (低)	

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた観光客数は、最近では回復の動きが見られるようになってきました。

・近年の観光のトレンドは、家族や友人と楽しめる体験型観光が好まれているため、魅力あるイベントの開催、体験型観光コンテンツを充実させることで、市内への観光客の増加を図ります。

・本須賀海水浴場は2019年に国際環境認証ブルーフラッグを県内で唯一取得し、その後も継続して取得しています。地域住民と行政が一体となり「海の豊かさを守ろう」という目標に向かって海岸環境美化活動に取り組むとともに、適切な施設管理を行い、安心して安全な海水浴が楽しめる環境づくりに努めます。また、サーフィンやマリンスポーツ、スポーツイベント等の開催を支援し、夏季以外の利用を促進します。

・NPO法人山武市観光協会HPやインスタグラム等のSNSを活用し、多くの世代層に向けた観光情報の発信を行います。また、成東駅前の観光案内所でのサービス内容を充実させ、機能強化を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
年間観光客入込数（人）	成果	1,747,115	1,721,820	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
年間宿泊観光客数（人）	成果	56,249	52,775	☀ (向上)	☔ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	主要施設の年間来客者数（オライはすぬま、さんぶの森公園、蓮沼海浜公園）（人）	成果	1,265,785	1,220,358	☀ (向上)	☔ (低下)	
01	広域(県) 民間事業者との連携事業数（件）	成果	14	15	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
01	体験型観光利用者数（人）	成果	574,414	565,134	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	観光施設(海水浴場)の利用者数（人）	成果	58,303	76,477	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	海岸を利用した撮影及び活動件数（件）	成果	93	147	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	観光案内所利用件数（件）	成果	7,883	8,525	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	SNSフォロワー数（人）	成果	1,962	2,801	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 03 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・観光客	・多くの観光客が市内に宿泊し、観光施設を訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客入込数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値															
	【商工観光課】	人	1,507,284	1,747,115	1,721,820	2,081,000	☀ (向上)															
評価	< 状況 > 令和 6 年の年間観光客入込数は1,721,820人で基準値と比較して214,536人増加、前年と比較して25,295人減少しました。 < 原因 > 前年度は、コロナ禍で中止されていたイベントが5年ぶりに再開されたことにより、観光客数が一時的に増加していたことが要因と思われます。令和 6 年度はその反動で観光客数がやや減少しましたが、基準値は引き続き上回っており、一定の誘客効果は維持しています。			(人) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R04</td><td>1,507,284</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>-</td><td>1,747,115</td></tr><tr><td>R06</td><td>-</td><td>1,721,820</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>2,081,000</td></tr></tbody></table>			年度	基準値	実績値	R04	1,507,284	-	R05	-	1,747,115	R06	-	1,721,820	R08	-	2,081,000	対 前年度
							年度	基準値	実績値													
							R04	1,507,284	-													
							R05	-	1,747,115													
R06	-	1,721,820																				
R08	-	2,081,000																				
			☁ (横ばい)																			
			達成 状況																			
			■■■ (低)																			

指標	年間宿泊観光客数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																								
	【商工観光課】	人	44,988	56,249	52,775	82,800	☀ (向上)																								
評価	< 状況 > 令和 6 年の年間宿泊観光客数は、52,775人で、基準値と比較して7,787人増加、前年と比較して3,474人減少しました。 < 原因 > 前年からの減少の主な要因としては、市内の比較的大規模の大きいホテルが一時的に営業を休止していたことが影響したと考えられます。			(人) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R04</td><td>44,988</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td></td><td>56,249</td><td>60,000</td></tr><tr><td>R06</td><td></td><td>52,775</td><td>65,000</td></tr><tr><td>R07</td><td></td><td></td><td>70,000</td></tr><tr><td>R08</td><td></td><td></td><td>82,800</td></tr></tbody></table>			年度	基準	実績値	めざそう値	R04	44,988			R05		56,249	60,000	R06		52,775	65,000	R07			70,000	R08			82,800	対 前年度
							年度	基準	実績値	めざそう値																					
							R04	44,988																							
							R05		56,249	60,000																					
R06		52,775	65,000																												
R07			70,000																												
R08			82,800																												
			☂ (低下)																												
			達成 状況																												
			■■■ (低)																												

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 魅力ある観光事業の推進

基本事業 02 海岸を活用した観光推進

基本事業 03 観光情報の発信

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	広域(県)、民間事業者との連携事業数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	件	3	14	15	18	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年の広域(県)、民間事業者との連携事業数は15件で、基準値と比較して12件増加、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 観光客数の回復を図ることを目的として広域の連携によるイベントが増えています。他自治体や事業者とのネットワークが広がり、共同でのイベントや情報発信の機会が増えたことが要因と考えられます。	(件)					☀️ (向上)
							☀️ (横ばい)
							達成状況
							■■ (高)

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

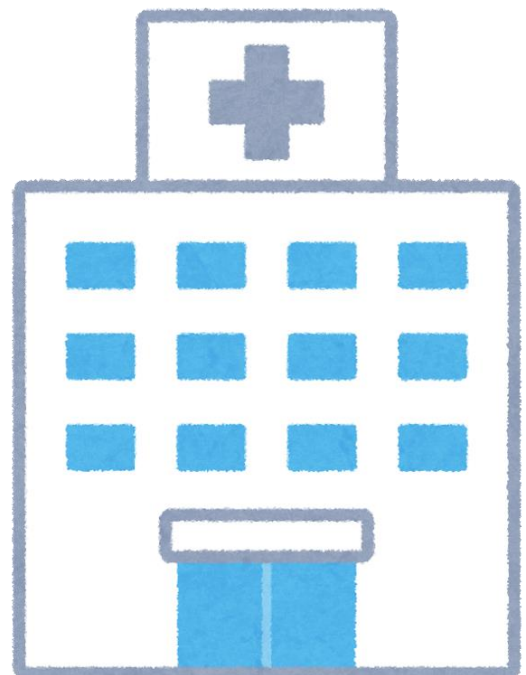
指標	体験型観光利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	人	435,561	574,414	565,134	600,000	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年の体験型観光利用者数は565,134人で、基準値と比較して129,573人増加、前年と比較して9,280人減少しました。 < 原因 > 体験型観光の利用者数は基準値を大きく上回り、一定の成果が見られました。いちご園の来場者は7,923人増加しており、分野によっては堅調に推移しています。全体では、コロナ禍明けの反動により微減となった要因と考えられます。	(人)					☀️ (向上)
							☁️ (横ばい)
							達成状況
							■■ (高)

基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標	海岸を利用した撮影及び活動件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	件	84	93	147	126	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の海岸を利用した撮影及び活動件数は、147件で基準値と比較して63件増加、前年度と比較して54件増加しました。 < 原因 > ロケーションとしての魅力が広まり、過去の撮影実績による波及効果や、情報発信の充実などが、利用件数の増加につながったものと考えられます。特にブルーフラッグを取得した本須賀海岸は撮影場所として非常に魅力的であり、撮影申し込みが増える一因となっていると考えられます。	(件)					☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							達成状況
							🏰 (達成)

基本事業03 観光情報の発信

指標	観光案内所利用件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	件	7,018	7,883	8,525	10,000	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の観光案内所利用件数は、8,525件で、基準値と比較して1,507件増加、前年度と比較して642件増加しました。 < 原因 > コロナ禍以降、観光需要が回復し、駅前の情報拠点として訪れる利用者が増加したことが考えられます。	(件)					☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							達成状況
							■■ (中)



【政 策】

4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

【施 策】

4-1 高齢者福祉の充実

4-2 障がい者(児)福祉の充実

4-3 健康づくりの推進

4-4 子育ての支援

4-5 地域福祉の充実とセーフティーネットの推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・いわゆる団塊の世代（昭和22年から24年生まれ）が75歳以上になる令和7年には、人口に占める65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）が37.8%に達し、その後も引き続き上昇が見込まれています。
- ・高齢者が社会参加し、生きがいを持ち、健康で安心して生活が送れるよう大学や関係団体等と連携した介護予防対策を推進していきます。
- ・高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、医療と介護の連携、介護予防、権利擁護など高齢者を地域全体で支える体制づくり（地域包括ケアシステム）をさらに推進していきます。
- ・認知症に対する理解を広め、認知症の方やその家族の視点を意識しながら、認知症になっても希望をもって生活できる地域づくりに取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合(%)	成果	95.7	95.7	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
介護保険サービスの満足度(%)	成果	77.4	73.6	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	社会参加している高齢者の割合(%)	成果	47.3	47.2	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
01	生きがいを持っている高齢者の割合(%)	成果	43.8	46	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	要支援 要介護認定者の新規該当者の平均年齢(歳)	成果	81.7	81.7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
02	支えあいや仕組みで見守られている高齢者数(のべ)(人)	成果	382	392	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	相談先がある高齢者の割合(%)	成果	78.5	74.7	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	認知症サポーター養成講座受講者数(人)	成果	121	67	☂ (低下)	☂ (低下)	○
04	在宅で生活している要介護認定者の割合(%)	成果	62.5	60.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	施設入所待機率(%)	成果	5.2	4.5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	受給者1人あたり給付月額(在宅、居住系サービス)の千葉県平均に対する割合(%)	成果	96.1	94.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	高齢者の人権が損なわれた件数(虐待 権利の相談件数)(件)	成果	330	226	☂ (低下)	☀ (向上)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 01 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 65歳以上の市民（高齢者） ・ 介護保険被保険者（40歳以上）	・ 高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活を送れます。

施策の成果状況と評価

指標	介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値												
	【高齢者支援課】	%	96.1	95.7	95.7	97	☂ (低下)												
評価	< 状況 > 令和6年度の介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合は、95.7%で、基準値と比較して0.4ポイント減少し、前年度と比較して変化はありませんでした。 < 原因 > 65歳以上、75歳未満の年齢層の平均年齢は前年度から上昇していますが、介護認定を受けずに生活している高齢者の割合に変化はありませんでした。平均年齢が上がっても、介護予防が図られ、重症化する高齢者が少ないことが要因と考えられます。介護状態にならずに在宅で生活できるよう、今後も介護予防事業の推進を図ります。 (R5：69.71歳、R6：69.73歳)	(%) <table><tr><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr><tr><td>値</td><td>96.1</td><td>95.7</td><td>95.7</td><td>95.7</td><td>97.0</td></tr></table>					基準	R04	R05	R06	R07	R08	値	96.1	95.7	95.7	95.7	97.0	対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
	基準	R04	R05	R06	R07	R08													
値	96.1	95.7	95.7	95.7	97.0														

指標	介護保険サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値												
	【高齢者支援課】	%	80.9	77.4	73.6	83	☂ (低下)												
評価	< 状況 > 令和6年度の介護保険サービスの満足度は73.6%で、基準値と比較して7.3ポイント減少、前年度と比較して3.8ポイント減少しました。 < 原因 > 制度の複雑さやサービスに制限があることから、希望通りの利用がしづらいと感じている方が多いことが要因と考えられます。窓口での制度の丁寧な説明や、きめ細やかな相談対応を行い、スムーズなサービスの利用につなげられるよう取り組みます。	(%) <table><tr><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr><tr><td>値</td><td>80.9</td><td>77.4</td><td>73.6</td><td>73.6</td><td>83.0</td></tr></table>					基準	R04	R05	R06	R07	R08	値	80.9	77.4	73.6	73.6	83.0	対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
	基準	R04	R05	R06	R07	R08													
値	80.9	77.4	73.6	73.6	83.0														

基本事業	01	生きがいづくりと介護予防の推進
基本事業	02	暮らしを支えるサービスの充実
基本事業	03	支えあいの仕組みづくりの促進
基本事業	04	介護保険サービスの推進と適正運営
基本事業	05	高齢者の人権尊重

指標	生きがいをしている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【高齢者支援課】	%	43.2	43.8	46	50	対 前年度														
評価	< 状況 > 令和 6 年度の生きがいをしている高齢者の割合は46.0%で、基準値と比較して2.8ポイント増加、前年度と比較して2.2ポイント増加しました。 < 原因 > 社会福祉協議会やシルバー人材センター等の関係機関とともに、測定会や健康教室で、サークル活動や集い・通い・交流の場等への接続を図ったことから、特に「趣味・娯楽」に生きがいを感じる高齢者の割合が増えたことが要因と考えます。男女比は男性43.9%・女性47.8%となっており、誰でも参加しやすい事業展開に努めます。	<table border="1"> <caption>生きがいをしている高齢者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>43.2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>43.8</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>46.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>46.0</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>46.0</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	43.2	R04	43.8	R05	46.0	R06	46.0	R07	46.0	R08	50.0	達成 状況
	年度	割合 (%)																			
基準	43.2																				
R04	43.8																				
R05	46.0																				
R06	46.0																				
R07	46.0																				
R08	50.0																				
							(低)														

指標	要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	歳	80.4	81.7	81.7	82	☀
評価	< 状況 > 令和 6 年度の要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢は81.7歳で、基準値と比較して1.3歳増加、前年度と比較して変化はありませんでした。 < 原因 > 介護予防や健康教室（運動教室）等の実施により、団塊の世代の高齢者が健康を維持しながら生活できていることが要因と考えられます。						(向上) ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (高)

指標	認知症サポーター養成講座受講者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値																					
	【高齢者支援課】	人	91	121	67	100	傘 (低下)																					
評価	< 状況 > 令和 6 年度の認知症サポーター養成講座受講者数は67人で、基準値と比較して24人減少し、前年度と比較して54人減少しました。 < 原因 > 認知症普及啓発事業である映画会の会場で講座の周知活動を行いましたが入場申し込みが伸びなかったことと、インフルエンザの流行で小学校での講座開催の中止が重なったことが要因と考えます。	(人) <table border="1"> <caption>認知症サポーター養成講座受講者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> <th>R08</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績値</td> <td>91</td> <td>-</td> <td>121</td> <td>67</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>めざそう値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>					項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08	実績値	91	-	121	67	-	-	めざそう値	-	-	-	-	-	100	対前年度 (低下) 傘 (低下) 達成状況 (低)
	項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08																					
実績値	91	-	121	67	-	-																						
めざそう値	-	-	-	-	-	100																						

指標	受給者1人あたり給付月額（在宅、居住系サービス）の千葉県平均に対する割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	95.4	96.1	94.1	100	
評価	< 状況 > 令和6年度の受給者1人あたり給付月額（在宅、居住系サービス）の千葉県平均に対する割合は94.1%で、基準値と比較して1.3ポイント減少、前年度と比較して2ポイント減少しました。 < 原因 > 令和6年度千葉県平均月額22,282円に対して山武市月額は20,967円でした。必要なサービスを選択し、利用される方が多いことが要因と考えられます。要介護認定者や介護者が在宅で生活しやすくなるよう、よりその方の生活ニーズに合ったサービスの提供がなされるよう制度の周知を図ります。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・障がい者が自ら望む地域生活を営む事ができるよう、生活と就労に関する支援の一層の充実を図るとともに、発達支援が必要な児童のニーズにきめ細かく対応するための支援の充実に取り組みます。
- ・専門機関や関係機関と連携し、障がいのある人の高齢化・重度化や親亡き後を見据えた居住支援体制の整備、地域包括ケアシステムの構築及び相談体制の充実に取り組みます。
- ・法改正の動向、社会情勢の変化を踏まえつつ、障がいのある方の置かれた環境や障がいの特性に応じて、地域で安心して社会参加し自立できるよう支援の充実を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）（％）	成果	1.91	2.19	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
在宅で生活している障がい者の割合（％）	代替	97.2	97.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自立支援給付サービスの実利用者数（人）	代替	542	530	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	地域生活支援サービス利用者数（のべ）（人）	代替	427	473	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
03	障がい児通所支援の利用者数（人）	成果	225	234	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合（％）	代替	88.8	90	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	障がい者（児）の権利が損なわれている件数（虐待 権利）（件）	成果	3	5	☂ (低下)	☂ (低下)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 障がい者等	・ 障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果状況と評価

指標	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	1.88	1.91	2.19	2.3	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の就業している障がい者の割合は2.19%で 基準値と比較して0.31ポイント増加、前年度と比較して0.28ポイント増加しました。 < 原因 > 全ての事業主は、従業員の一定割合以上の障がい者を雇用することが義務付けられており、今後も引き上げが予定されている障害者雇用率に対応していくため、企業での障害者雇用が進んだことが要因と考えられます。						対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■■ (中)
指標	在宅で生活している障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	97.2	97.2	97.1	97.4	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の在宅で生活している障がい者の割合は97.1%で基準値、前年度と比較して、ともに0.1ポイント減少しました。 < 原因 > 障がい者の利用ニーズの把握や居宅介護サービス等の利用促進に努めていますが、障害程度が重くなり在宅で生活できなくなった障害者は一定程度おり、施設入所者が増加したことが要因と考えられます。						対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

基本事業	01	自立支援サービスの促進
基本事業	02	地域生活支援の促進
基本事業	03	発達が気になる子への支援
基本事業	04	障がいのある人の人権尊重

指標	自立支援給付サービスの実利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値												
	【社会福祉課】	人	542	542	530	697	対前年度 (向上)												
評価	< 状況 > 令和 6 年度の自立支援給付サービスの利用者数は530人であり、基準値、前年度と比較し、ともに12人減少しました。 < 原因 > 利用者数は微減していますが、各手帳交付や窓口相談の際に自立支援給付サービスの説明を行い、周知を努めたことにより一定の利用者数を、維持している要因と考えられます。	<table border="1"> <caption>利用者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用者数	基準	542	R04	542	R05	530	R06	530	R08	697	対前年度 (向上) 達成状況 (達成)
	年度	利用者数																	
基準	542																		
R04	542																		
R05	530																		
R06	530																		
R08	697																		

指標	地域生活支援サービス利用者数（のべ）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	人	201	427	473	376	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の地域生活支援サービス利用者数は473人であり、基準値と比較して272人増加、前年度と比較して46人増加しました。 < 原因 > 山武郡市基幹相談支援センターが認知されてきたことや関係機関の連携が密になったことにより相談件数が増え、また障がい者のしおりを活用し、周知に努めたことにより増加した要因と考えられます						対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 🏰 (達成)

指標	障がい児通所支援の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		人	193	225	234	308	対 前年度
	【社会福祉課】						達成 状況
評価	< 状況 > 令和 6 年度の障がい児通所支援の利用者数は、児童発達支援58人・放課後等デイサービス176人合計234人であり、基準値と比較して41人増加、前年度と比較し9人増加しました。 < 原因 > 各手帳交付時における障がい児通所支援の説明や障がい児支援を切れ目なく行うため、関係部署と相互支援を行ったことにより増加に繋がった要因と考えられます。						対 前年度 達成 状況 （中）

指標	切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	91	88.8	90	100	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合は90.0%で、基準値と比較し1ポイント減少し、前年度と比較し1.2ポイント向上しました。 < 原因 > 切れ目のない支援を行うため会議において検討した児童は10人であり、9人についてはサービスを継続しましたが、1名については年度末までにサービスに結びつかなかったことが要因です。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・がん、心臓病、脳卒中は、市における死因の44.4%を占めています。その原因となる可能性が高い生活習慣病の発症予防や重症化予防対策を強化していきます。
- ・市内の自殺率は、減少傾向にありますが、引き続き、関係部署と連携し、個別支援に取り組んでいきます。
- ・妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進のため、健診や相談支援の充実に取り組んでいきます。
- ・子どものむし歯保有者率は、年々減少傾向ですが、県平均より高い状況にあるため、対策の充実を図ります。
- ・医療・保健・介護を健診から在宅まで三位一体で切れ目なく地域住民に提供し、安心して暮らすことができる医療環境の整備を実施します。
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療制度の一人当たり総医療費が増加しています。急激な医療費増加を抑えるため、特定健康診査等受診率の向上及び生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策に取り組めます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)()	成果	2.41	2.31	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
生活習慣病死亡率(%)	成果	51	44.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)(項目)	成果	3.6	3.55	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
01	人口10万人当たり自殺率()	成果	24.44	14.47	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	特定健康診査受診率(%)	成果	42.1	42.6	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
02	後期高齢者健康診査受診率(%)	成果	28	30.2	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	がん検診を年1回受けている市民の割合(%)	成果	40.5	48.1	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(%)	成果	32.4	32.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	乳幼児健診の受診率(%)	成果	92	93.2	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	乳児面接実施率(%)	成果	99.4	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	幼児(3歳)のむし歯保有者率(%)	成果	10.6	14.8	☀ (向上)	☂ (低下)	
04	小学生のむし歯保有者率(%)	成果	41.6	42.8	☂ (低下)	☂ (低下)	
05	麻しん・風しん混合(MR)予防接種率(%)	成果	91.5	90	☂ (低下)	☂ (低下)	
05	新型コロナウイルスワクチン接種率(%)	成果	0.4	-	---	---	
06	かかりつけ医を持っている市民割合(%)	成果	64.9	69.6	☀ (向上)	☀ (向上)	
06	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合(%)	成果	63.5	67.6	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
07	1人当たりの国民健康保険総医療費(円)	社会	378,784	385,680	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
07	1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費(円)	社会	788,869	798,122	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
07	特定疾病療養受療証新規交付数(人)	成果	10	6	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果状況と評価

指標	人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値										
			2.06	2.41	2.31	1.97	☂ (低下)										
	【健康支援課】																
評価	< 状況 > 人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)は2.31で、基準値と比較して0.25ポイント増加、前年度と比較して0.1ポイント減少しました。 < 原因 > 働き盛りの年齢層の方は、仕事が忙しく健康に関する関心が低く受診が遅くなっている可能性があります。健(検)診・早期受診の必要性を更に啓発していく必要があります。		<table><caption>死亡率の推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2.06</td></tr><tr><td>R05</td><td>2.41</td></tr><tr><td>R06</td><td>2.31</td></tr><tr><td>R08 (めざそう値)</td><td>1.97</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	2.06	R05	2.41	R06	2.31	R08 (めざそう値)	1.97	対前年度 ☀ (横ばい)
	項目	値															
	基準	2.06															
R05	2.41																
R06	2.31																
R08 (めざそう値)	1.97																
						達成状況 ■■■ (低)											

指標	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値											
	【健康支援課】	%	55.5	51	44.4	55.5	☀ (向上)											
評価	< 状況 > 生活習慣病死亡率は44.4%で、基準値と比較して11.1ポイント減少、前年度と比較し6.6ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > がん・心疾患・脳血管疾患による死亡率がいずれも減少しており、健康教育や健康相談等での啓発活動が一定の効果を上げたと考えられます。			(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>55.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>51</td></tr><tr><td>R06</td><td>44.4</td></tr><tr><td>R08</td><td>55.5</td></tr></tbody></table>				項目	値 (%)	基準	55.5	R05	51	R06	44.4	R08	55.5	対 前年度
								項目	値 (%)									
基準	55.5																	
R05	51																	
R06	44.4																	
R08	55.5																	
							☀ (向上)											
							達成 状況											
							🏰 (達成)											

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	心身の健康管理の充実
基本事業	02	健診の受診率向上と生活習慣の改善
基本事業	03	母子の健康管理
基本事業	04	子どものむし歯対策の推進
基本事業	05	感染症等対策の推進
基本事業	06	医療体制の充実
基本事業	07	健康保険制度の安定的な運営

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	項目	3.92	3.6	3.55	4	☂ (低下)
評価	<状況> 令和6年度の1人当たりの健康づくり取組項目数は3.55項目で、基準値と比較して0.37項目減少、前年度と比較して0.05項目減少しました。 <原因> 食生活に関する健康づくり取組項目数の減少、20～40歳代の取組項目数が低くなっています。育児や仕事が忙しく健康に対する関心が低いことが要因と考えられます。	(項目) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☂ (低下)
							☂ (低下)

基本事業03 母子の健康管理

指標	乳児面接実施率	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	100	99.4	100	100	☀ (向上)
評価	<状況> 令和6年度の乳児面接実施率は100%で、基準値と同値であり、前年度と比較して、0.6ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 乳児全戸訪問事業として、家庭訪問で面接、家庭訪問が叶わない場合には来所による相談と、それぞれの家庭事情にあわせた対応を行い、対象者全員に面接ができました。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業06 医療体制の充実

指標	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	65.8	63.5	67.6	67.8	☀ (横ばい)
評価	<状況> 令和6年度の休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合は67.6%で、基準値と比較して1.8ポイント向上、前年度と比較して4.1ポイント向上しました。 <原因> 市民への周知・広報啓発として、公式SNSを利用したことが効果的に作用したものと考えられます。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	特定疾病療養受療証新規交付数	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【国保年金課】	人	11	10	6	11	☀ (向上)
評価	<状況> 令和6年度の特定疾病療養受療証の新規交付数は6件で、基準値より5件減少、前年度と比較して4件減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 特定保健指導や糖尿病の発症予防に関する周知を実施したことで、被保険者の疾病及び重症化に対する予防意識が向上したことが要因と考えられます。	(人) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (向上)
							☀ (向上)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・共働き世帯やひとり親家庭の増加等、家庭の状況が変化し、3歳未満時の保育や長時間保育の需要が高まっています。
- ・子育て支援センターにて育児等の相談を受け、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。
- ・子育てにおける経済的負担の軽減はニーズが高く、市では引き続き高校生年代までの医療費を助成し、保護者の経済的な負担軽減を図ります。
- ・一部の学童クラブでは、利用登録者数が定員を超過しており、支援員の配置数を増やす等の対応を取っています。指定管理者と連携し、十分な支援員数の確保を進めます。
- ・妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援の充実に取り組んでいきます。
- ・結婚を希望する人を応援する事業を引き続き推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合（％）	成果	89.2	90	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合（％）	成果	89	89	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園 保育所・こども園の利用定員充足率（％）	成果	77.7	72.2	☂ (低下)	☂ (低下)	○
01	就学前保育 教育に関する保護者の満足度（％）	成果	96.3	95	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	一時保育 特別保育ニーズに対応できなかった件数（件）	成果	14	18	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	学童クラブの待機児童数（人）	成果	6	1	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合（％）	成果	90	93.7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
03	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	成果	90.2	87.3	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
03	各種子育て相談延べ件数（件）	代替	6,784	5,819	☀ (向上)	☂ (低下)	
04	子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）（円）	代替	279,742	289,812	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	ひとり親家庭の自立率（％）	成果	12.6	13.01	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
05	児童虐待通告件数（件）	成果	77	83	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
05	児童に関する措置件数（件）	成果	1	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
06	出生者数(計画期間累計)(人)	成果	160	315	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
06	結婚する意欲のある独身者の割合（％）	成果	80.7	69.5	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 児童（0～18歳未満） ・ 子育て家庭	子育て環境が整っており、安心して産む・育てることができます。

施策の成果状況と評価

指標	子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	93.4	89.2	90	95	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合は90.0%で、基準値と比較して3.4ポイント減少しましたが、前年度よりも0.8ポイント上昇しました。 < 原因 > 育児に対しての不安の解消や、子育てしやすい環境整備等の支援の充実が図られたことが要因と考えられます。		(%)				対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	92.2	89	89	94.4	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のこの地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合は89.0%で、前年度と同値となり、基準値と比較して3.2ポイント減少しました。 < 原因 > 周囲のサポート不足や子育ての悩みを一人で抱え込んでいる等が考えられ、相談支援体制の充実を望んでいることが原因と考えられます。		(%)				対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	幼保機能の充実
基本事業	02	学童保育の充実
基本事業	03	子育て不安の軽減
基本事業	04	子育て家庭への援助
基本事業	05	こどもの人権の尊重
基本事業	06	次世代育成に係る家族形成の支援

基本事業01 幼保機能の充実

指標	幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	82.9	77.7	72.2	80	☂ (低下)
評価	<状況> 令和6年度の幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率は72.2%で、基準値と比較して10.7ポイント減少、前年度と比較して5.5ポイント減少しました。 <原因> 地域の少子化に伴い入園を希望する幼児が減少していることが原因と考えられます。今後、施設の統合や廃止の検討を含め、地域の実情に合わせた保育の提供が必要になると考えられます。						☂ (低下)
		対前年度					☂ (低下)
		達成状況					☂ (低下)
							■ (低)

基本事業02 学童保育の充実

指標	学童クラブの待機児童数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	人	0	6	1	0	☂ (低下)
評価	<状況> 令和6年度の待機児童数は1人で、基準値と比較して1人増、前年度と比較して5人減少しました。 <原因> 令和5年度に発生していた大平学童クラブの待機児童は、令和6年度においては発生しませんでした。また、令和6年4月初時点では成東学童クラブで待機児童が1人発生していましたが、年度途中での入所により、年度末時点での待機児童は0人でした。						☂ (低下)
		対前年度					☂ (低下)
		達成状況					☂ (低下)
							■ (低)

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子育て支援課】	%	86.3	90	93.7	91	☀ (向上)
評価	<状況> 令和6年度の育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合は93.7%で、基準値と比較して7.4ポイント増加、前年度と比較して3.7ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 保護者が保育施設を利用することで保育士とのコミュニケーションが図られ、子育ての不安が少しずつ解消出来たことが要因と考えられます。						☀ (向上)
		対前年度					☀ (向上)
		達成状況					☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	結婚する意欲のある独身者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	70.3	80.7	69.5	81.3	☁ (横ばい)
評価	<状況> 令和6年度の結婚する意欲のある独身者の割合は69.5%で、基準値と比較して0.8ポイント、前年度と比較して11.2ポイント減少しました。 <原因> 昨年度のアンケート結果と比較すると、「今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから」と「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が大きく伸びており、ライフスタイルの多様化が減少の一因であると考えられます。						☂ (低下)
		対前年度					☂ (低下)
		達成状況					☂ (低下)
							■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・国では、社会的孤立や生活困窮等の問題も含め、全ての人々が地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指しています。
- ・「社会福祉法」には、地域住民が自ら地域の生活課題を把握し、解決に向けて各種支援機関と連携しながら活動するというのが、地域福祉の理念として掲げられています。一人でも多くの市民が地域活動に参加することのできる仕組みを整備し、地域活動の活性化を図ります。
- ・生活保護受給者の増加に加え、非正規雇用労働者や低所得の給与収入者など、生活に困窮するリスクの高い層が増加しているため、相談支援体制を強化します。
- ・生活保護受給者数は、高齢化により年々増加し、今後も増加が見込まれています。法改正により、自立支援機能が強化されており、受給者の自立支援に取り組んでいきます。
- ・老朽化が進行する公営住宅は、長寿命化計画に基づき、計画的な点検や修繕等を実施します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合（％）	成果	38.5	43.4	 (横ばい)	 (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	地域福祉活動をしている市民割合（％）	成果	8.8	10.5	 (低下)	 (横ばい)	
01	福祉活動の市民活動団体の加入者数（人）	成果	1,461	1,473	 (横ばい)	 (横ばい)	○
02	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	成果	20,219	35,277	 (向上)	 (向上)	○
02	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数（日）	成果	75	81	 (向上)	 (横ばい)	
03	生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合（％）	成果	21.3	34.4	 (向上)	 (向上)	
04	自立による生活保護廃止件数（件）	成果	6	7	 (低下)	 (横ばい)	○
04	生活保護率（‰）	代替	9.65	10.48	 (低下)	 (低下)	
05	公営住宅長寿命化進捗率（％）	成果	0	0	 (横ばい)	 (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 生活困窮者	地域での相互扶助や公的支援により安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	43.7	38.5	43.4	50	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合は43.4%で、基準値より0.3ポイント減少、前年度より4.9ポイント増加しました。 < 原因 > 年代別では10歳代及び60歳以上の方の指標値の増加によるもので、地域福祉活動に関わる学生や高齢者の増加が要因と考えます。		(%)				対前年度
							☀ (向上)
							達成状況
							■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域福祉の担い手育成

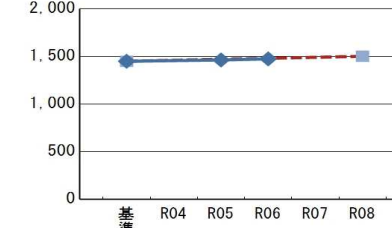
基本事業 02 社会福祉機関・団体の充実

基本事業 03 生活困窮者自立支援の充実

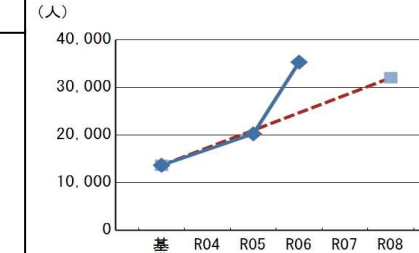
基本事業 04 生活保護制度の適正な実施

基本事業 05 公営住宅の維持管理

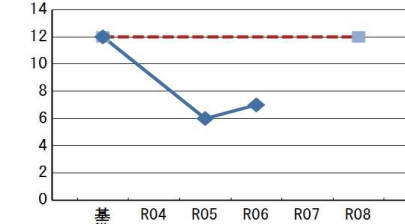
基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	福祉活動の市民活動団体の加入者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	人	1,448	1,461	1,473	1,500	 (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の福祉活動の市民活動団体加入者数は1,473人で、基準値より25人、前年度より12人増加しました。 < 原因 > 前年度市民活動団体が 9 団体解散、10団体加入し、 1 団体増加したことが要因と考えます。	 (人)					 対 前年度  (横ばい) 達成 状況  (低)

基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																								
	【社会福祉課】	人	13,633	20,219	35,277	32,000	 (向上)																								
評価	< 状況 > 令和 6 年度の社会福祉協議会の実施した事業への参加者数は35,277人で、基準値より21,644人増加、前年度より15,058人増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 社会福祉協議会が実施している地区社協事業及び生活支援体制整備事業への参加者が増加したことが要因です。	(人)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R04</td><td>13,633</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td></td><td>20,219</td><td></td></tr><tr><td>R06</td><td></td><td>35,277</td><td></td></tr><tr><td>R07</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td><td></td><td>32,000</td></tr></tbody></table>					年度	基準値	実績値	めざそう値	R04	13,633			R05		20,219		R06		35,277		R07				R08			32,000	 (向上)
		年度	基準値	実績値	めざそう値																										
R04	13,633																														
R05		20,219																													
R06		35,277																													
R07																															
R08			32,000																												
値							 (達成)																								

基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	自立による生活保護廃止件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
		件	12	6	7	12															
	【社会福祉課】																				
評価	< 状況 > 令和6年度の自立による生活保護廃止件数は7件で、基準値と比較して5件減少し、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 前年度と比較して、稼働による廃止は同数であり、社会保障給付金による廃止は減少しましたが、親類・縁者等の引取りが4件増加するなど、日々のケースワークにおいて、関係機関と連携しながら地道に自立支援を継続していることが全体として1件増加の要因です。	(件)  <table border="1"><caption>自立による生活保護廃止件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>12</td></tr><tr><td>R04</td><td>12</td></tr><tr><td>R05</td><td>6</td></tr><tr><td>R06</td><td>7</td></tr><tr><td>R07</td><td>7</td></tr><tr><td>R08</td><td>12</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	12	R04	12	R05	6	R06	7	R07	7	R08	12	(低下)
		項目	値																		
基準	12																				
R04	12																				
R05	6																				
R06	7																				
R07	7																				
R08	12																				
							対 前年度														
																					
							(横ばい)														
							達成 状況														
																					
							(低)														

基本事業05 公営住宅の維持管理

指標	公営住宅長寿命化進捗率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																		
	【都市整備課】	%	0	0	0	74	☁																		
評価	< 状況 > 令和 6 年度の公営住宅長寿命化進捗率は 0 % で、基準値、前年度と同値となりました。 < 原因 > 令和 5 年度に発注を予定していた改修設計業務について、人件費等の高騰により執行を見送り、令和 6 年度は、事業の見直し期間としたことが要因と考えます。	(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>めざそう値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R04</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R05</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R08</td><td>74</td><td>74</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (%)	めざそう値 (%)	R04	0	0	R05	0	0	R06	0	0	R07	0	0	R08	74	74	☁ 対 前年度
							年度	実績値 (%)	めざそう値 (%)																
R04	0	0																							
R05	0	0																							
R06	0	0																							
R07	0	0																							
R08	74	74																							
値							☁ 達成 状況																		
							■■■ (低)																		



【政 策】

5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

【施 策】

5-1 学校教育の充実

5-2 生涯学習の推進

5-3 スポーツの振興

5-4 人権尊重のまちづくり

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模の適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。
- ・近年の教育課題として、子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。
- ・確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善に取り組めます。
- ・児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてICT 機器の有効活用に取り組めます。
- ・社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協働できる体制づくりを推進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
学校生活に満足している児童の割合 (%)	成果	91.5	91.7	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
学校生活に満足している生徒の割合 (%)	成果	94.9	92.1	☀ (向上)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	学力の定着が見られる児童の割合 (%)	成果	55.9	63.7	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	学力の定着が見られる生徒の割合 (%)	成果	49.3	48.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
01	中学校卒業時に英語検定 3級以上を取得している生徒の割合 (%)	成果	41.7	45.2	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	生活習慣の改善に努めた生徒の割合 (%)	成果	5.6	6.8	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 (%)	成果	80.8	73.6	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	不登校児童の割合 (%)	成果	1.84	2.65	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	不登校生徒の割合 (%)	成果	7.93	8.14	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合 (%)	成果	94.3	94.7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合 (%)	成果	71	62.2	☂ (低下)	☂ (低下)	
04	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合 (%)	成果	59.3	63.3	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 (%)	成果	74.7	78	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	学校施設の不具合による学校生活支障件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	安全な給食を確実に提供できなかった件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数(校)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
06	学校教育活動に協力した市民数(人)	成果	137	141	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
06	学校支援活動に協力した市民数(人)	成果	123	120	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 児童 ・ 生徒	・ 学校生活に満足している児童生徒が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	学校生活に満足している児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	92	91.5	91.7	95	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の学校生活に満足している児童の割合は91.7%で、基準値と比較して0.3ポイント減少、前年度として比較して0.2ポイント増加しました。 < 原因 > 満足度が高い学校は、授業がわかりやすいと思っている児童の割合が高い傾向にあり、授業がわかりやすいと思っている児童の割合の増加が、学校生活の満足度の上昇につながった主な要因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
	< 状況 > 令和 6 年度の学校生活に満足している生徒の割合は92.1%で、基準値と比較して1.8ポイント増加、前年度と比較して2.8ポイント減少しました。 < 原因 > 学習意欲や授業理解に肯定的な回答をした生徒の割合が減少したことが原因と考えます。満足していないと回答した理由については、行事や部活よりも授業の割合が高くなっています。						対前年度 ☔ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

基本事業 02 「健やかな体」の育成

基本事業 03 「豊かな心」を育む

基本事業 04 ICT教育の実践

基本事業 05 教育環境の整備

基本事業 06 地域と学校の協力体制の推進

基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の定着が見られる児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	62	55.9	63.7	63	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の学力の定着が見られる児童は63.7%で、基準値と比較して1.7ポイント増加、前年度と比較して7.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 授業時数の適正化を図り、授業準備の時間確保に努めたことや、読解力向上を目指して令和6年度から導入した教材「よむYOMUワークシート」の成果が児童の学力の定着につながったと考えます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							☀️ (達成)
							☀️ (達成)

基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の定着が見られる生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	55.3	49.3	48.2	56.3	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の学力の定着が見られる生徒の割合は48.2%で、基準値と比較して7.1ポイント減少、前年度と比較して1.1ポイント減少しました。 < 原因 > 教科ごとに見ると、数学科において県平均を超えた生徒数が少ない結果となりました。ICT機器の活用や指導形態の工夫を図っているものの、数学科を苦手としている生徒が多いと考えます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
							☔️ (達成)
							☔️ (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【教育総務課】	校	1	0	0	0	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数は0校で、基準値と比較して1校減少しており、前年度の0校を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（前期計画）に計画された4件（8校）の学校統合により、複式学級や単学級の解消が図られたことが主な要因と考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							☀️ (達成)
							☀️ (達成)

基本事業06 地域と学校の協力体制の推進

指標	学校支援活動に協力した市民数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	人	229	123	120	229	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の学校支援活動に協力した市民数は120人で、基準値と比較して109人減少、前年度と比較して3人減少しました。 < 原因 > 令和5年度と比較して、登下校時の見守り活動や環境整備等の人員構成に若干の変更はあったものの、ほぼ横ばいとなりました。基準値と比較した場合は、学校統合や児童数の減少、保護者による送迎が影響していると考えられます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
							☔️ (達成)
							☔️ (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・生涯学習の推進については、学習施設の環境整備や世代に沿った自主事業及び講座等のニーズを取り入れ、市民の学習意欲の向上を図ります。
- ・施設利用者の高齢化・固定化が進むなか、市民誰もが参加しやすい学習及び文化事業を推進します。また、各施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化等に対する適正配置や維持管理を行います。
- ・市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件及び市90件の指定文化財があり、これらを周知・活用した学習機会を増やし、郷土愛の醸成につなげます。
- ・芸術文化に対する市民の関心と活動への参加意欲を高めるとともに、郷土芸能活動をはじめ、伝統文化等の継承及び保存活動に取り組んでいきます。
- ・青少年の育成については、急速に進むグローバル化に対応するため、海外交流を通して多文化を学び理解することで、国際競争力を身につけ、広い視野を持つ人材の育成を行います。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）（％）	成果	28.7	24.2	☂ (低下)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市主催の生涯学習講座の年間参加者数（人）	成果	1,108	1,779	☀ (横ばい)	☀ (向上)	
01	自主クラブ登録数（グループ）	成果	179	176	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	生涯学習施設の利用者数（人）	成果	218,185	222,453	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	この1年間に図書館を利用したことがある市民割合（％）	成果	6.5	6.2	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
02	公共施設維持管理費（生涯学習施設分）（万円）	成果	28,356	29,494	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	市民が認識している市内文化財数（全8項目）（項目）	成果	3.33	3.44	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数（人）	成果	4,324	4,477	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
04	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合（％）	成果	75.8	72.5	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
04	市主催の芸術文化事業への参加者数（人）	成果	4,379	4,745	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合（％）	成果	27.5	28.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	青少年育成事業 体験学習への児童・生徒参加者数（人）	成果	912	1,658	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 02 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 (主に学校教育を終了した市民)	・ 生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【生涯学習課】	%	26.9	28.7	24.2	33	☂ (低下)														
評価	< 状況 > 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)は24.2%で、基準値と比較して2.7ポイント減少、前年度と比較して4.5ポイント減少しました。 < 原因 > 同じ人が生涯学習活動に取り組んでいる割合が多いことに加え、65歳以上のパート職や無職の市民が生涯学習に取り組んでいない割合が増えたことが原因と考えられます。			(%) <table><caption>生涯学習に取り組んでいる市民の割合 (%)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>26.9</td></tr><tr><td>R04</td><td>28.7</td></tr><tr><td>R05</td><td>28.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>24.2</td></tr><tr><td>R07</td><td>24.2</td></tr><tr><td>R08</td><td>33</td></tr></tbody></table>			項目	値 (%)	基準	26.9	R04	28.7	R05	28.7	R06	24.2	R07	24.2	R08	33	対 前年度
							項目	値 (%)													
							基準	26.9													
							R04	28.7													
R05	28.7																				
R06	24.2																				
R07	24.2																				
R08	33																				
☂ (低下)																					
達成 状況																					
■■■ (低)																					

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 主体的な学習の推進

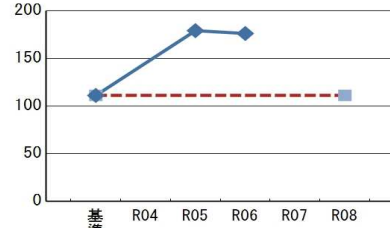
基本事業 02 生涯学習施設の利用促進

基本事業 03 文化財の保護・活用

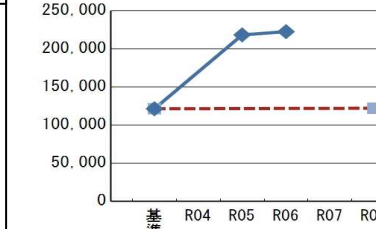
基本事業 04 芸術文化活動の充実

基本事業 05 青少年の育成

基本事業01 主体的な学習の推進

指標	自主クラブ登録数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		【公民館】 グループ	111	179	176	111	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の自主クラブ登録数は176グループで、基準値と比較して65グループ増加し、前年度と比較して3グループ減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 高齢の方が組織している団体が活動を継続できなくなったことが要因です。しかしながら、ダンススタジオで活動する団体は増加しています。	(グループ)					☀ 対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							🏰 (達成)

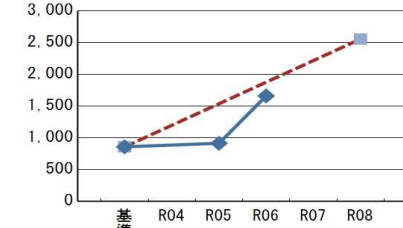
基本事業02 生涯学習施設の利用促進

指標	生涯学習施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【文化会館】	人	121,277	218,185	222,453	122,000	☀
評価	(人)						(向上)
							☀ 対 前年度
	< 状況 > 令和 6 年度の生涯学習施設の利用者数は、222,453人で基準値と比較して101,176人増加、前年度と比較して4,268人増加し、めざそう値を達成しました。						☀ (向上)
	< 原因 > 団体構成員数の多い団体の活動が増加したことや、ダンスへの人気が上昇しており、イベントへの来場者数も増加していることなどが要因と考えられます。						達成 状況
							☀ (達成)

基本事業04 芸術文化活動の充実

指標	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
		%	28.5	27.5	28.1	35															
評価	【公民館】	(%)					(横ばい)														
	< 状況 > 令和6年度の芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合は28.1%で、基準値と比較して0.4ポイント減少、前年度と比較して0.6ポイント増加しました。 < 原因 > 発表の機会を設けてはいますが、参加者の固定化や情報発信が足りていないことが新規参加者が増えない原因と考えられます。	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>28.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>28.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>27.5</td></tr><tr><td>R06</td><td>28.1</td></tr><tr><td>R07</td><td>28.5</td></tr><tr><td>R08</td><td>35.0</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	28.5	R04	28.1	R05	27.5	R06	28.1	R07	28.5	R08	35.0	対 前年度
		項目	値																		
		基準	28.5																		
		R04	28.1																		
R05	27.5																				
R06	28.1																				
R07	28.5																				
R08	35.0																				
					(横ばい)																
					達成 状況																
					 (低)																

基本事業05 青少年の育成

指標	青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【生涯学習課】	人	856	912	1,658	2,553	☀
評価		(人)					(向上)
	< 状況 > 令和6年度の青少年育成事業等への児童・生徒の参加者数は1,658人で、基準値と比較して802人増加、前年度と比較して746人増加しました。						☀
	< 原因 > 感染症対策のため休止していた放課後子ども教室事業が再開したことが主な要因と考えられます。						(向上)
							達成状況
							■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・市ホームページを活用した各団体による活動内容のPRや、スポーツツーリズムと連動した市民参加型の魅力的なスポーツイベントの開催など、運動意欲を高める機会や環境づくりに取り組みます。
- ・専門的な知識や技術を有する指導者を育成し、スポーツ活動への参加機会の充実を図り、登録者が減少傾向にあるスポーツ少年団等への加入を促進します。
- ・スポーツ施設の管理については、公共施設総合管理計画に基づき、施設の適正な管理を行い、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
スポーツ活動に親しむ市民の割合（％）	成果	25.5	27.1	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	スポーツ大会 教室へ参加した市民の割合（％）	成果	7.1	6.6	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	スポーツ大会 教室の機会の充足度（％）	成果	76.2	72.7	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）(団体)	成果	48	49	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	体育関係団体の指導者数（人）	成果	89	88	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	体育施設の利用者数（人）	成果	120,787	125,696	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	公共施設維持管理費（社会体育施設分）(万円)	成果	8,742	8,257	☁ (横ばい)	---	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

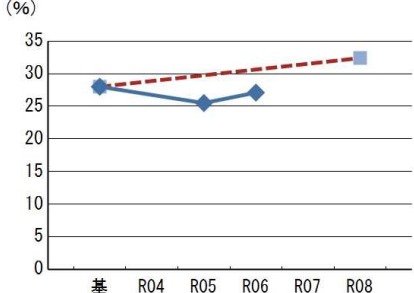
政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 03 スポーツの振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【スポーツ振興課】	%	28	25.5	27.1	32.4	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度のスポーツ活動に親しむ市民の割合は27.1%で、基準値と比較して0.9ポイント減少、前年度と比較して1.6ポイント増加しました。 < 原因 > 週 2 回30分以上の運動をしている人の比率では、昨年度と比較し20代を除くすべての年齢層で増えていることから、運動習慣を持つ市民が増えていることが要因だと考えられます。		(%) 				対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ活動の充実

基本事業 02 体育関係団体・指導者の育成

基本事業 03 体育施設の利用促進

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	%	5.4	7.1	6.6	10.1	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のスポーツ大会・教室へ参加した市民の割合は6.6%で、基準値と比較して1.2ポイント増加し、前年度と比較し0.5ポイント減少しました。 < 原因 > 市主催のスポーツ大会が少ないことに加え、会社員・公務員の方のスポーツ大会や教室に参加した比率が昨年度と比較し0.6ポイント減少していることから仕事や育児によりスポーツに時間を割くことが出来ないことが要因として考えられます。	(%)					☀ (横ばい)
		(低)					☀ (横ばい)

基本事業02 体育関係団体・指導者の育成

指標	体育関係団体の指導者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	人	76	89	88	135	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の体育関係団体の指導者数は88人で、基準値と比較して12人の増加、前年度と比較して1人の減少です。 < 原因 > 昨年度と比較し、少年スポーツクラブ連合会の指導者が2人増え、スポーツ推進委員が3人減っていることが体育関係団体の指導者数が微減の要因です。	(人)					☀ (横ばい)
		(低)					☀ (横ばい)

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	体育施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	人	71,523	120,787	125,696	124,000	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の体育施設の利用者数は125,696人で、基準値と比較して、54,173人増加、前年度と比較して4,909人増加しめざそう値を達成しました。 < 原因 > 成東総合運動公園テニスコート人工芝張替工事を令和5年度に実施したため、テニスコートの利用が出来ない期間がありましたが、令和6年度は通年で利用出来たことが前年度と比較して利用者数が増加した要因として考えられます。	(人)					☀ (向上)
		(達成)					☀ (向上)

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	公共施設維持管理費（社会体育施設分）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	万円	6,342	8,742	8,257	12,279	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の公共施設維持管理費（社会体育施設分）は8,257万円で、基準値と比較して、1,915万円増加しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 施設の修繕箇所数の減少が、維持管理費が減少した要因であると考えられます。	(万円)					☀ (横ばい)
		(達成)					☀ (横ばい)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・「人権が尊重されているまちだ」と思う市民の割合」は、令和元年度に10ポイント以上向上したものの、その後は横ばいです。
- ・LGBT、外国人または感染症に関する人権等、配慮すべき多様な人権ニーズが生じています。これらの多様な人権ニーズへの期待に応えられるよう人権教育及び啓発活動を推進します。
- ・市民が抱える様々な人権問題に、解決の糸口を見いだせるよう人権相談窓口を開設します。
- ・「あらゆる分野で男女が対等に参画している」と思う市民の割合」は前総合計画期間においても低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。令和5年度に策定し、令和6年度に計画期間が開始した「第4次山武市男女共同参画計画」に沿って、効果的に施策を推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合（％）	成果	56	59.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合（％）	成果	17.6	21.4	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合（％）	成果	25	26.5	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合（％）	成果	7.5	9.4	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
02	人権侵害に対する措置件数（件）	代替	1,449	1,311	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
03	審議会などに女性委員が登用されている割合（％）	成果	27.2	28.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合（％）	成果	84.5	81.8	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	男性が家事・育児に積極的に参加している割合（％）	成果	38	37.2	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。 ・ あらゆる分野で男女が対等に参画している社会になっています。

施策の成果状況と評価

指標	人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	56.6	56	59.4	56.6	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合は59.4%で、基準値と比較して2.8ポイント、前年度と比較して3.4ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 人権擁護委員による小学校での人権教室の実施や啓発活動を継続的にやってきたことにより、人権への意識が高まっていることが要因と考えます。		(%)				対前年度 ☀ (向上)
							達成状況 🏰 (達成)
指標	あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	19.5	17.6	21.4	25	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度のあらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合は21.4%であり、基準値と比較して1.9ポイント増加、前年度と比較して3.8ポイント増加しました。 < 原因 > アンケートの結果から、性別では女性、年齢別では30歳代から50歳代、職業別ではパートタイマー、アルバイト及び家事専業の方が低い傾向となっており、依然として男女で職業の差があることが要因であると考えられます。		(%)				対前年度 ☀ (向上)
							達成状況 ■ (低)

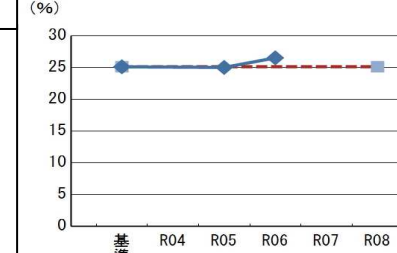
□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 人権教育・人権啓発の推進

基本事業 02 人権擁護の推進

基本事業 03 男女共同参画の推進

基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	25.1	25	26.5	25.1	
評価							(向上)
	< 状況 > 令和6年度のこの1年間に人権について学んだことのある市民の割合は26.5%で、基準値と比較して1.4ポイント、前年度と比較して1.5ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 昨今、人権を傷つけるような事件に関連する報道が増加したことや、市が主催する人権教室の取り組みなどが人権についての意識が向上した要因であると考えます。						 (向上) 達成 状況  (達成)



【政 策】

6 市民と行政が協働してつくるまちづくり

【施 策】

6-1 協働と交流によるまちづくり

6-2 開かれた市政とまちの魅力発信

6-3 計画的・効率的な行財政運営

6-4 公正確実な事務の執行

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・少子高齢化や人口減少が進む中で、多様化・複雑化する社会情勢に対応したまちづくりを推進していくには、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が不可欠です。地域まちづくり協議会等を通じて各種団体等が交流・連携し、一体となって自らが課題解決に取り組むまちづくりを図ります。

・「市民活動（地域活動）等に参加している市民の割合」は、微減しています。市民が身近な地域活動を知り、市民活動団体が相互連携を深める機会を増やすなど、まちづくりに参加しやすい環境整備を進めます。

・「区・自治会加入率」は低下傾向であり、活動継続に必要な支援を行います。

・市内在住外国人と地域の人々が、共に理解し、対等な関係を築き、共に暮らしていけるまちづくりを推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市民活動（地域活動）に参加している市民の割合（％）	成果	30.2	32.1	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
NPO・ボランティア活動をしている市民の割合（％）	成果	9.4	12.2	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	区・自治会加入率（％）	成果	66.95	66.66	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合（％）	成果	52.7	58.2	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	市民活動に意欲的な市民割合（％）	成果	33.5	36.7	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数（人）	成果	1,666	1,540	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数（回）	成果	5	10	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数（件）	成果	8	9	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

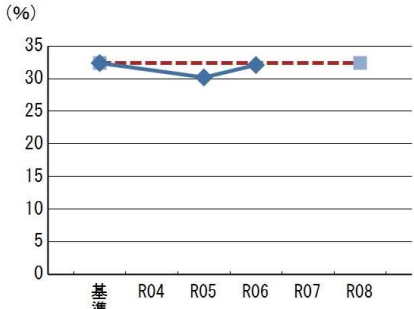
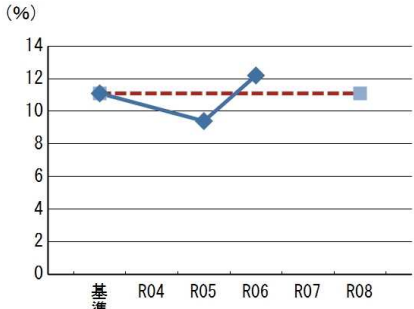
政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・NPO法人 ・市民活動団体 ・職員	・まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。

施策の成果状況と評価

指標	市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	32.4	30.2	32.1	32.4	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は32.1%で、基準値と比較して0.3ポイント減少、前年度と比較して1.9ポイント増加しました。 < 原因 > アンケート結果によると、10歳代から30歳代の若い世代は低く、70歳代以上の割合が高い状況にあり、高齢者における地域活動への参加意識が高いことが要因と考えられます。	 (%)					対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)
指標	NPO・ボランティア活動をしている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	11.1	9.4	12.2	11.1	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のNPO・ボランティア活動をしている市民割合は12.2%で、基準値と比較して1.1ポイント増加、前年度と比較して2.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 感染症対策の影響で縮小していた各種団体等の市民活動（地域活動）が徐々に展開されていることが要因と考えられます。	 (%)					対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 区・自治会活動の活性化

基本事業 02 市民活動の活性化

基本事業 03 協働のまちづくり推進の仕組みづくり

基本事業 04 多文化共生社会の推進

基本事業01 区・自治会活動の活性化

指標	区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	55.9	52.7	58.2	55	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合は58.2%で、基準値と比較して2.3ポイント、前年度と比較して5.5ポイント増加しました。 < 原因 > 自治会で組織している自主防災組織の数も増加傾向にあり、災害時等における日頃からの地域住民の協力の必要性を感じている市民が増えていることが主な要因と考えられます。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					(向上)
							☀️
							(向上)
							達成状況
							🏰 (達成)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動に意欲的な市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	38.9	33.5	36.7	39	☁️
評価	< 状況 > 令和6年度の市民活動に意欲的な市民割合は36.7%で、基準値と比較して2.2ポイント減少、前年度と比較して3.2ポイント増加しました。 < 原因 > 市民活動フェスタがさんぶの森公園で規模を大きくして開催されたことなど、市民活動団体の活動やイベントに参加できる機会が増加していることが要因と考えられます。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					(横ばい)
							☀️
							(横ばい)
							達成状況
							■ (低)

基本事業03 協働のまちづくり推進の仕組みづくり

指標	市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	回	-	5	10	25 (年5回)	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催数は10回で、前年度と比較し5件増加しました。 < 原因 > 市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会3回、市民活動フェスタ実行委員会1回、登録市民活動団体等を対象とした協働と交流によるまちづくりセミナーで1回、会議を実施したことが要因です。	(回) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					(横ばい)
							☀️
							(横ばい)
							達成状況
							■ (低)

基本事業04 多文化共生社会の推進

指標	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	件	10	8	9	8	☁️
評価	< 状況 > 令和6年度の多文化共生社会への行政・市民活動団体の取組数は9件で、基準値と比較して1件減少、前年度と比較して1件増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 多文化共生に係る国際交流の事業で、前年度休止となっていた海外研修生受入事業が実施されたことが要因です。	(件) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					(横ばい)
							☀️
							(横ばい)
							達成状況
							🏰 (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・株式会社ブランド総合研究所の地域ブランド調査によると、山武市の認知度は1,000市区町村中950位（2024年度現在）となっています。首都圏に位置し、成田国際空港に近接している立地メリットや、市の魅力を積極的に発信することで、山武市への関心を喚起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加を推進していきます。
- ・広報紙や議会だよりの創意工夫に加え、新聞離れやインターネットメディアの普及等から、SNSを活用しながら、市政情報の伝達手段の多様化に取り組みます。
- ・「市長への手紙」等の制度により、市政に対する市民からの意見や提言を市政に反映させ、市民参加でのまちづくりを進めます。
- ・ICTを活用した議会中継配信の周知等を通じ、議会への関心を高めていきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市政情報の提供の満足度 (%)	成果	84.5	88.3	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 (%)	成果	62.4	64.2	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えたことがある市民の割合 (%)	成果	23.3	27.3	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	成果	86.8	87	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
01	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	成果	86.2	88.3	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	ホームページ等のITを活用した市からの情報提供に満足している市民割合 (%)	成果	92.1	91.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	成果	26.1	25.4	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	SNS等による市からの情報発信件数 (件)	成果	43,667	31,051	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数 (人)	成果	5,181	10,042	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	成果	40.8	42.7	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	市議会を傍聴した人数 (議会インターネット中継アクセス件数含む) (件)	成果	2,535	1,956	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・行政 ・国民 ・職員	・市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。 ・市民一人ひとりが愛着を持ち、市の魅力を伝えています。

施策の成果状況と評価

指標	市政情報の提供の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	85.5	84.5	88.3	90	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市政情報の提供の満足度は88.3%で、基準値より2.8ポイント増加、前年度と比較して3.8ポイント増加しました。 < 原因 > 情報発信の即時性と拡散性が高いLINE等のSNSの利用者が増加傾向にあります。適切なタイミングで必要な情報を受け取っている市民が増えたことが要因の一つとして考えられます。						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■ (中)
指標	多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	60	62.4	64.2	65	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合は64.2%で、基準値と比較して4.2ポイント増加、前年度と比較して1.8ポイント増加しました。 < 原因 > 市ホームページでの掲載に加え広報紙にも「市長への手紙」受付件数及び実際の対応事例等を掲載したことにより、多くの市民への周知が図られたことが要因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■ (高)
指標	この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えることができる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	17.6	23.3	27.3	25	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のこの1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えることができる市民の割合は27.3%であり、基準値より9.7ポイント増加、前年度と比較して4.0ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 各スポーツ界で活躍する市出身選手を紹介する「地域のヒーロー展」の開催など地域の魅力を再認識できるイベントの開催や、広報紙および市公式LINE等のSNSを活用し、市の魅力の発信に努めたことが要因として考えられます。						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

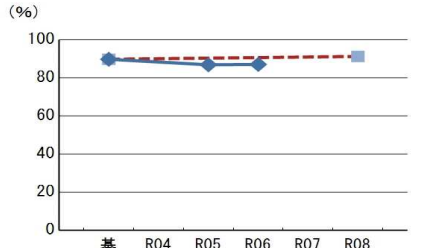
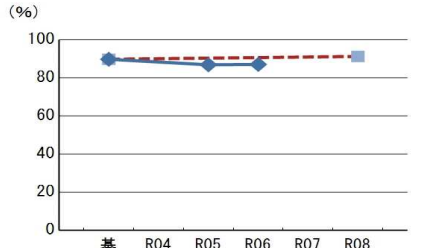
基本事業 01 広報の充実

基本事業 02 広聴の充実

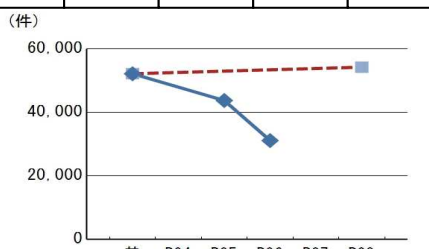
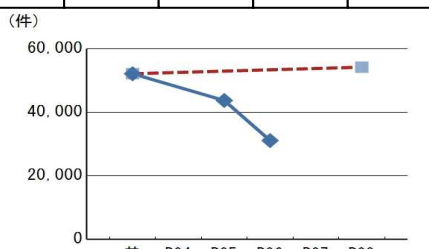
基本事業 03 市の魅力発信の強化

基本事業 04 議会情報の公開の推進

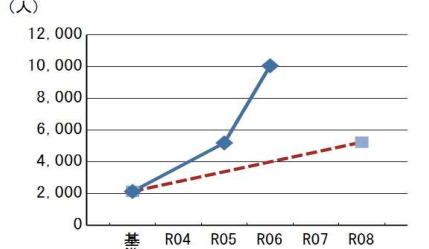
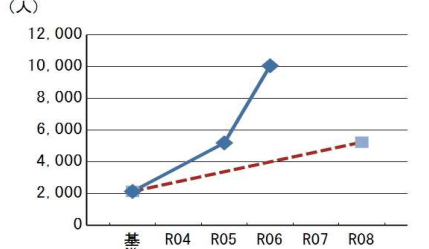
基本事業01 広報の充実

指標	広報紙を読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	89.7	86.8	87	91.2	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の広報紙を読んでいる市民の割合は87.0%で、基準値と比較して2.7ポイント減少、前年度と比較して0.2ポイント増加しました。 < 原因 > 子育て世代をターゲットにした特集記事の掲載に取り組んだ結果、30歳代の読者が前年度と比較し増加したことなどが要因として考えられます。	 (%)					☂ (低下)
		 (%)					☂ (低下)

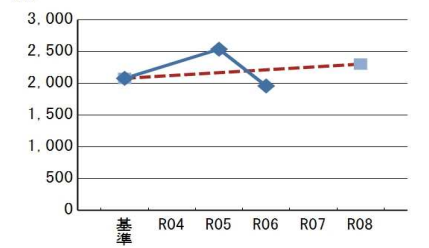
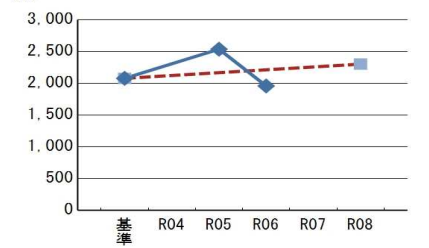
基本事業03 市の魅力発信の強化

指標	SNS等による市からの情報発信件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	件	52,092	43,667	31,051	54,172	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度のSNS等による市からの情報発信件数は31,051件で、基準値より21,041件減少、前年度と比較し12,616件減少しました。 < 原因 > YouTubeを通じた動画コンテンツの新規投稿数が減少し、新たな話題性を提供できなかったことや、世間一般的に短尺動画（Instagramなど）へ視聴者の関心が移り、従来型の長尺コンテンツの需要が相対的に減少傾向にあることが要因として考えられます。	 (件)					☂ (低下)
		 (件)					☂ (低下)

基本事業03 市の魅力発信の強化

指標	市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	人	2,128	5,181	10,042	5,230	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数は10,042人で、基準値より7,914人増加、前年度比較して4,861人増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > ふるさと納税の件数が増加しています。地域の特産品や工芸品など特色ある返礼品の提供により市に対する関心が高まったことが要因として考えられます。	 (人)					☀ (向上)
		 (人)					☀ (向上)

基本事業04 議会情報の公開の推進

指標	市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【議会事務局】	件	2,076	2,535	1,956	2,300	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）は1,956件で、基準値と比較して120件減少、前年度と比較して579件減少しました。 < 原因 > 小松地先市有地土砂搬入事業がテレビ、新聞報道等に取り上げられたことで令和5年度に市議会を傍聴した人数が急増した反動により減少したものと考えられます。また、議会中継配信の周知不足も減少の要因と考えられます。	 (件)					☂ (低下)
		 (件)					☂ (低下)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・市民の行政に対するニーズは多様化・複雑化しています。市では行政評価の仕組みにより、定量的に施策の成果を確認しながら、事業・事務の見直しを行い、変化する市民ニーズに対応していきます。
- ・歳入の約3割を占める地方交付税は、市町村合併による特例加算の終了や人口の減少により減額が見込まれます。減少する歳入と歳出の調整を行い、計画的な財政運営に取り組んでいきます。
- ・市では公共施設等総合管理計画などの計画を策定し、市が保有する公共施設・インフラ資産の更新や改修などを計画的に行うとともに、市の人口・財政規模に見合った公共施設の整備を推進します。
- ・少子高齢化の進行に対応するため、単なる新技術の導入ではない、地域社会全体のデジタル変革が求められています。市の状況に合ったデジタル技術の導入によって、市民の利便性・満足度の向上、行政運営の効率化を推進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
施策の目標達成率 (%)	成果	14.6	29.3	☂ (低下)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	基本事業の目標達成率 (%)	成果	28.3	35.1	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
01	PDCAサイクルを意識している職員の割合 (%)	成果	54.4	59.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	年次休暇取得日数が10日以上の方の割合 (%)	成果	65.7	65	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合 (%)	成果	75.7	81.8	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合 (%)	成果	76.1	72.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	経常収支比率 (%)	成果	94.8	93.6	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	実質公債費比率 (%)	成果	6.1	7.1	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
03	経常経費に占める一般財源の割合 (%)	成果	75.6	73.6	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	市税収納率 (%)	成果	98.09	98.2	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	市保有の土地活用率 (%)	成果	51.9	50	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	公共施設維持管理費 (万円)	成果	175,614	172,025	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
06	市のITサービスを利用している市民の割合 (%)	成果	46.5	45.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
06	ITを活用した行政サービス 行政事務の改善件数及び新規導入件数 (計画期間累計) (件)	成果	11	32	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 03 計画的・効率的な行財政運営

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 行政 ・ 市民	・ 計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われ、まちづくりが推進しています。

施策の成果状況と評価

指標	施策の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
	【企画政策課】	%	42.5	14.6	29.3	60	☂ (低下)																					
評価	< 状況 > 施策の目標達成率は29.3%で、基準値と比較して13.2ポイント減少しましたが、前年度と比較して14.7ポイント増加しました。 < 原因 > 政策別にみると、5つの政策で改善がみられることから、第3次総合計画の施策は、着実に推進されています。施策の成果が市民に届いたことで、指標値が上昇した要因であると考えます。			(%) <table><thead><tr><th>指標</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>42.5</td><td></td><td>14.6</td><td>29.3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>42.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>60</td></tr></tbody></table>			指標	基準	R04	R05	R06	R07	R08	実績値	42.5		14.6	29.3			めざそう値	42.5					60	対 前年度
							指標	基準	R04	R05	R06	R07	R08															
実績値	42.5		14.6	29.3																								
めざそう値	42.5					60																						
							☀ (向上)																					
							達成 状況																					
							■ ■ ■ (低)																					

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 行政経営の推進

基本事業 02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 03 健全な財政運営

基本事業 04 税収の確保

基本事業 05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

基本事業 06 自治体DXの推進と市民サービスの向上

基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	%	74.6	75.7	81.8	79	☀
評価	< 状況 > 職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合は81.8%で、基準値より7.2ポイント増加、前年度より6.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 業務の複雑化・多様化が進む中で、職員一人ひとりに求められる能力や業務量は増加しておりますが、コンプライアンス研修等を通じて職務や職責への意識が高まり、自らの役割を的確に果たそうとする職員が増加していることが、その要因であると考えられます。						(向上)
							☀
							(向上)
							達成状況
							☀
							(達成)

基本事業03 健全な財政運営

指標	経常経費に占める一般財源の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	78.5	75.6	73.6	77	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の経常経費に占める一般財源の割合は73.6%で、前年度と比較して2.0%ポイント減少、基準値と比較して4.9%ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 経常経費が公債費や補助費等などの増加により、約9億1千万円の増加となりましたが、特定財源が約6億円の増加となり、財源を確保できたことが要因です。						(向上)
							☀
							(向上)
							達成状況
							☀
							(達成)

基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	市保有の土地活用率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	49.1	51.9	50	50	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の市保有の土地活用率は50.0%で、基準値と比較して0.9ポイント増加、前年度と比較して、1.9ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 用途廃止による普通財産の増加やイベント等への一時的な貸付けの減少により、前年度と比較すると土地活用率は低下しましたが、長期的な貸付け等による土地の活用は増加しており、土地活用の全体的な傾向は、堅調に推移していると考えられます。						(横ばい)
							☀
							(横ばい)
							達成状況
							☀
							(達成)

基本事業06 自治体DXの推進と市民サービスの向上

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	46.5	46.5	45.3	50.5	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の市のICTサービスを利用している市民の割合は45.3%で、基準値と比較し1.2ポイント減少、前年度と比較して1.2ポイント減少しました。 < 原因 > 行政のICTサービス化は進んでいますが、オンラインで処理できる個別具体的な申請手続等について、周知や案内等が足りていないことが原因と考えられます。						(横ばい)
							☀
							(横ばい)
							達成状況
							☀
							(低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・地方自治体の業務が多様化・高度化する一方、正確な事務執行と会計処理を求められており、デジタル技術の活用などにより、人的ミスの発生を防止するなど、職員の誰もが公正で確実な行政サービスを提供できるように取り組みます。

・個人情報の保護については、個人情報保護法の改正により、令和5年4月1日から個人情報が官民ともに一元管理されることとなったため、職員への注意喚起等を行い、個人情報の漏洩事案が発生しないように取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数 (件)	成果	0	5	☂ (低下)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	例月現金出納検査の指摘事項件数 (件)	成果	37	22	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	市長選 市議選の投票率 (%)	成果	50.21	-	---	---	
02	各種選挙の管理執行上の問題件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	監査による指摘事項等の措置率 (%)	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	情報公開請求における不服申立による変更件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	個人情報の漏洩件数 (件)	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	戸籍 住民基本台帳の誤記載申し出による事件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
06	不服申立等により課税誤りになった件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

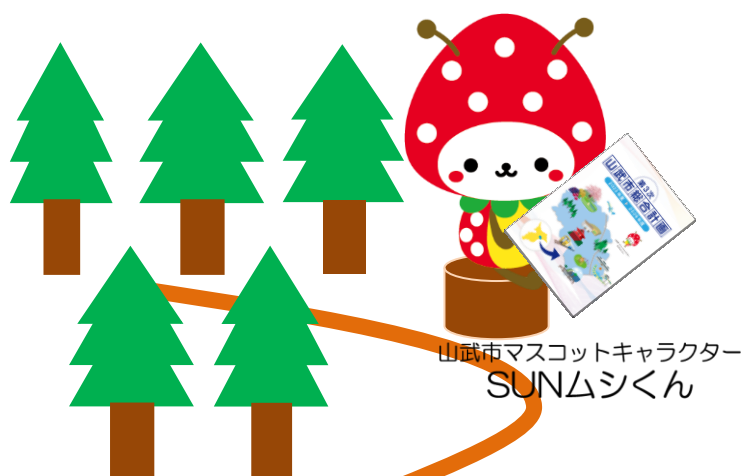
施策 04 公正確実な事務の執行

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 職員	・ 公正で確実な行政サービスを受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	件	0	0	5	0	☔ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数は、5 件で、基準値と比較して 5 件増加、前年度と比較して 5 件増加しました。 < 原因 > 指標値は、山武市職員の分限、懲戒等に関する審査会で「事務処理に関して」の戒告以上の処分件数であり、令和 6 年度は 5 件でした。		(件)				対前年度 ☔ (低下)
							達成状況 ■■■ (低)



山武市マスコットキャラクター
SUN△シくん

山武市まちづくり報告書
令和7年11月
発行／山武市
編集／総合政策部企画政策課
〒289-1392 千葉県山武市殿台 296 番地
TEL : 0475-80-1132